

2016 年 9 月分新聞書評

**蔡英文 新時代の台湾へ**

蔡 英文 著

白水社

台湾初の女性総統が、一度は総統選に敗北しながらも、市民との対話を通し模索し続けた、新たなリーダーシップの形と未来の台湾の姿。

2016:5./ 281p

978-4-560-09248-4

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2016/09/04

**自由の思想史～市場とデモクラシーは擁護できるか～(新潮選書)**

猪木 武徳 著

新潮社

自由は本当に「善きもの」か。経済学者の視点から、古代ギリシアから啓蒙時代、近代日本までの歴史を総覧し、人間精神の自由、政治経済体制としての自由のあり方を問う。『考える人』連載を加筆修正し単行本化。

2016:5./ 239p

978-4-10-603785-6

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2016/09/04

**家族システムの起源<1> ユーラシア(上)**

エマニュエル・トッド 著

藤原書店

家族システムの起源は、“核家族”である。長年、世界各地の家族構造を研究してきた著者が、家族類型の起源と分化について論述し、人類の歴史の姿を提示する。中国、日本、インド亜大陸などの地域を収録。

2016:6./ 417p

978-4-86578-072-7

本体 ¥4,200+税



産経新聞 2016/09/04

**日本語大好き～キンダイチ先生、言葉の達人に会いに行く～**

金田一 秀穂 著

文藝春秋

テレビでおなじみ金田一先生が研究室を飛び出した！桂文枝、三谷幸喜、糸井重里ら、言葉を使う達人 13 人と、日々変化する日本語の魅力と難しさを語り合った対談集。『文藝春秋』連載を単行本化。

2016:6./ 222p

978-4-16-390469-6

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2016/09/04

**家族システムの起源<1> ユーラシア(下)**

エマニュエル・トッド 著

藤原書店

家族システムの起源は、“核家族”である。長年、世界各地の家族構造を研究してきた著者が、家族類型の起源と分化について論述し、人類の歴史の姿を提示する。中央および西ヨーロッパ、中東を収録。

2016:6./ p420?937

978-4-86578-077-2

本体 ¥4,800+税



産経新聞 2016/09/04

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、資料 No.、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2016 年 9 月時点での税抜価格です。



パデレフスキ自伝～闘うピアニスト～<上>

イグナツィ・ヤン・パデレフスキ、メアリー・ロートン、湯浅 玲子 著

ハンナ

ポーランドのピアニストで作曲家、後にポーランド共和国初代首相となったパデレフスキ(1860?1941)の自伝。生い立ちから音楽活動、政治活動に至る詳細を語る。上は少年時代からアメリカ演奏旅行まで。

2016:6./ 331p

978-4-907121-58-7

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2016/09/04



世界一の三人きょうだい

グードルン・メプス 著

徳間書店

小学生の女の子マキシと、まだおむつのとれない弟のレオンが、大学生で一人暮らしをしているお兄ちゃんのアパートで暮らすことに!?仲良し三人きょうだいのてんやわんやな一週間を描く、心あたたまるドイツのおはなし。

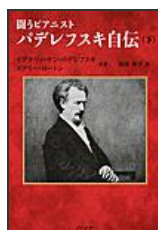
2016:7./ 140p

978-4-19-864205-1

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/09/04



パデレフスキ自伝～闘うピアニスト～<下>

イグナツィ・ヤン・パデレフスキ、メアリー・ロートン、湯浅 玲子 著

ハンナ

ポーランドのピアニストで作曲家、後にポーランド共和国初代首相となったパデレフスキ(1860?1941)の自伝。生い立ちから音楽活動、政治活動に至る詳細を語る。下はヨーロッパ演奏旅行から第一次世界大戦勃発まで。

2016:7./ 271p

978-4-907121-59-4

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/09/04



ライオンズ、1958。

平岡 陽明 著

角川春樹事務所

かつて博多には、西鉄ライオンズというプロ野球チームがあった。伝説のやくざと、史上最強のスラッガー、そして普通の記者。自らの「生き方」を貫いた男たちのハードボイルドな人情物語。

2016:7./ 282p

978-4-7584-1287-2

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/09/04



ハーバード数学科のデータサイエンティストが明かすビッグデータの残酷な現実 ～ネットの密かな行動から、私たちの何がわかってしまったのか?～

クリスチャン・ラダー、矢羽野 薫 著

ダイヤモンド社

秘めた願望、恋愛、性的指向、容姿、偏見…。ハーバード大学の数学科を卒業後、4人の仲間とていっしょに出会いサイトを創業した著者が、男女関係のビッグデータから、普段は目にすることができない人間の本质をあぶり出す。

2016:8./ 277p

978-4-478-02299-3

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2016/09/04



『イムジン河』物語～“封印された歌”の真実～

喜多 由浩 著

アルファベータブックス

ザ・フォーク・クルセダーズのレコード発売中止騒動以来、長い間、闇の中に閉じ込められていた歌「イムジン河」。関係者を追い、この歌が歩んだ不思議な旅路をたどる。写真と楽譜付き。『産経新聞』連載を大幅に加筆・修正。

2016:8./ 205p

978-4-86598-018-9

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/09/04



アンマーとぼくら

有川 浩 著

講談社

休暇で沖縄に帰ってきたリョウは、親孝行のため「おかあさん」と島内を観光する。一人目の「お母さん」はリョウが子供の頃に亡くなり、再婚した父も逝ってしまった。観光を続けるうち、リョウは何かがおかしいことに気がつく。

2016:7./ 301p

978-4-06-220154-4

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/09/10



きみはしっている 改版(五味太郎クラシックス)

五味 太郎 著

岩崎書店

岩かげに肉を隠すコンドルくん。「見張ってくれよ、きみ」と読者に語りかけます。コンドルくんが去るとキツネが肉を掘り出し…。

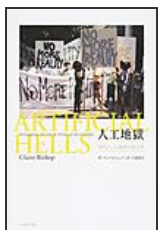
2016:3./ 1冊(ページ付なし)

978-4-265-83032-9

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/09/11



人工地獄～現代アートと観客の政治学～

クレア・ビショップ、大森 俊克 著

フィルムアート社

アートの社会的関与とはいかなるものか。観客はアートにどう応え、どう行動してきたか。20世紀以降の芸術史において見逃されてきた「参加」の系譜を再編集し、現代アートの最新動向を批判的に読解する。

2016:5./ 535p

978-4-8459-1575-0

本体 ¥4,200+税



産経新聞 2016/09/11



不屈の棋士(講談社現代新書 2378)

大川 慎太郎 著

講談社

羽生は将棋ソフトより強いのか? 渡辺はなぜ叡王戦に出ないのか? 人工知能に追い詰められた「将棋指し」たちの覚悟と矜持とは。羽生善治、渡辺明ら 11人のロングインタビューを収録する。

2016:7./ 318p

978-4-06-288378-8

本体 ¥840+税



産経新聞 2016/09/11



誰もいないホテルで(CREST BOOKS)

ペーター・シュタム、松永 美穂 著

新潮社

森の中の宿で。リノベーションされた工場跡地で。音楽フェスの夜に。心をとらえ、運命を動かす瞬間。スイスの人気作家による短篇集。

2016:7./ 187p

978-4-10-590128-8

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2016/09/11



作る!超リアルなジオラマ～材料探しから作品発信まで完全マスター～

情景師アラーキー 著

誠文堂新光社

作品の細密さで話題のジオラマ作家・情景師アラーキーが、自身のジオラマテクニックを公開。材料をかうところから、道具、作り方、撮影方法などの具体例を、豊富な作例とイラストで紹介する。

2016:8./ 127p

978-4-416-71609-0

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2016/09/11



最強英語脳を作る(ベスト新書 522)

茂木 健一郎 著

ベストセラーズ

英語を身につけるということは、英語の「マインド・セット」を身につけること。英語ができないと、人類の文明の最先端の現場にいられない。脳科学者の茂木健一郎が、個人的英語体験をもとに、英語脳のつくり方を披露する。

2016:7./ 169p

978-4-584-12522-9

本体 ¥780+税



産経新聞 2016/09/11



歴史問題の正解(新潮新書 682)

有馬 哲夫 著

新潮社

自虐にも、自賛にも陥らず——。「日本は無条件降伏をしていない」「真珠湾攻撃は騙し討ちではない」etc.国内外の公文書館で筆者が掘り起こした第一次資料で次々と明らかにされる 11 の意外な真実。

2016:8./ 237p

978-4-10-610682-8

本体 ¥760+税



産経新聞 2016/09/11



天国の扉をたたき～穏やかな最期のためにわたしたちができること～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 2-10)

ケイティ・バトラバー、布施 由紀子 著

亜紀書房

脳梗塞の後遺症と認知症に苦しむ父を看取った家族が直面したのは、アメリカの過剰医療と看取りの残酷な現実だった…。ジャーナリストである娘が、両親を支え、看取った日々を綴るとともに、アメリカの医療の実態を描く。

2016:7./ 428p

978-4-7505-1440-6

本体 ¥2,600+税



産経新聞 2016/09/11



三六〇〇日の奇跡～「がん」と闘う舞姫～(星槎大学教養シリーズ 2)

吉野 ゆりえ 著

かまくら春秋社

プロ競技ダンサーとして華々しい成績を残していた矢先、希少がん「肉腫(サルコーマ)」に襲われ、「5 年生生存率 7%」という数字が突き付けられた…。病に立ち向かう女性の 10 年の記録。『かまくら春秋』連載を単行本化。

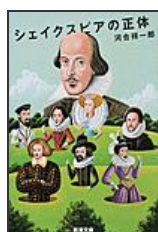
2016:8./ 189p

978-4-7740-8004-8

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2016/09/11



シェイクスピアの正体(新潮文庫 か-76-1)

河合 祥一郎 著

新潮社

シェイクスピアの正体をめぐっては、18 世紀以来さまざまな「別人説」が唱えられ、今なお論争が絶えない。陰謀渦まくエリザベス朝時代を背景に、シェイクスピアの謎めいた全体像を明快かつスリリングに解き明かす。

2016:5./ 341p

978-4-10-120476-5

本体 ¥590+税



産経新聞 2016/09/17



人が集まる建築～環境×デザイン×こどもの研究～(講談社現代新書 2366)

仙田 満 著

講談社

新広島市民球場、国際教養大学図書館を手掛けた「環境建築家」が、人がまた来なくなる建築設計の技法を考察。建築及び環境デザインが、多くの人を集め、幸せにする方法について、実践を通して述べる。

2016:4./ 339p

978-4-06-288366-5

本体 ¥900+税



産経新聞 2016/09/18



もしも地球がひとつのリンゴだったら(絵本地球ライブラリー)

デビッド・J.スミス、スティーブ・アダムス、千葉 茂樹 著

小峰書店

太陽系や人類の歴史のようにほんとうに「大きなもの」をわかりやすいサイズにちぢめてみよう！ そう、たとえば人形や模型の飛行機のように。するとびっくりするような結果が待っている。さあ、これから見ていこう！

2016:7./ 39p

978-4-338-28206-2

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/09/18



日の沈む国から～政治・社会論集～

加藤 典洋 著

岩波書店

「災後」と「戦後」の共存という事態は何を意味するか。この社会の新たな問題を考えるための指標を示す。『インターナショナル・ニューヨーク・タイムズ』への寄稿文の日本語原文を中心にまとめて書籍化。

2016:8./ 8p,294p

978-4-00-024529-6

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2016/09/18



水力発電が日本を救う～今あるダムで年間2兆円超の電力を増やせる～

竹村 公太郎 著

東洋経済新報社

『日本史の謎は「地形」で解ける』の著者が断言。世界にも稀な地形と気象の日本は、既存ダム徹底活用でエネルギー大国になれる！

2016:8./ 190p

978-4-492-76228-8

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2016/09/18



北海道が危ない！

砂澤 陣 著

育鵬社

アイヌ協会は、弱者の自立心を奪い、補助金漬けにしながら、弱者利権を貪っている。北海道内で強力な力を持つ「北海道アイヌ協会」「北海道教職員組合」「北海道新聞」「中国人経営者」の実態を告発する。

2016:9./ 255p

978-4-594-07547-7

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2016/09/18



民進党(笑)。～さようなら、日本を守る気がない反日政党～(ワニブックス|PLUS|新書 173)

赤尾 由美 著

ワニブックス

失敗は人のせい。口癖は自民ガー。趣味は対案なし。参院選・都知事選に惨敗しても自分たちは悪くない！ 昭和を代表する保守政治家・赤尾敏の姪が、日本人らしからぬ言動の数々を残す民進党、そして国民の進むべき道を綴る。

2016:9./ 191p

978-4-8470-6576-7

本体 ¥830+税



産経新聞 2016/09/18



サイレント・プレス

南 杏子 著

幻冬舎

大学病院から、在宅で「最期」を迎える患者専門のクリニックへの“左遷”を命じられた水戸倫子。いくつもの死と、そこに秘められた“謎”を通して、人生の最後の日々を穏やかに送る手助けをする医療の大切さに気づき…。

2016:9./ 325p

978-4-344-02999-6

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/09/18



光炎の人<上>

木内 昇 著

KADOKAWA

日露戦争の行方に国内の関心が集まっていたころ。徳島の貧しい農家に生まれた少年は、電気の可能性に魅せられていた。電気は必ず世を変えるという確信を胸に、少年は大阪へ渡る決心をする…。『小説野性時代』連載を単行本化。

2016:8./ 399p

978-4-04-110145-2

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/09/18、日本経済新聞 2016/09/18



光炎の人<下>

木内 昇 著

KADOKAWA

大阪の工場ですべてを技術開発に捧げた音三郎は、製品化という大きなチャンスを手にする。だが、それは無惨にも打ち砕かれてしまう。東京へ移った彼は、無線開発の分野で頭角をあらわすが…。『小説野性時代』連載を単行本化。

2016:8./ 379p

978-4-04-104194-9

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2016/09/18、日本経済新聞 2016/09/18



本当の夜をさがして～都市の明かりは私たちから何を奪ったのか～

ポール・ボガード、上原 直子 著

白揚社

コンビニ、自動販売機、街灯…過剰な光に蝕まれた都市に暮らし、夜を失った私たちの未来には、何が待ち受けているのか。広がりゆく<光害>の実像を追いながら、自然の夜の価値を問い直す。角幡唯介の巻末エッセイも収録。

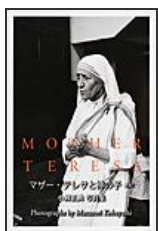
2016:4./ 413p

978-4-8269-9058-5

本体 ¥2,600+税



産経新聞 2016/09/24



マザー・テレサと神の子～小林正典写真集～ 新版

小林 正典 著

ビレッジプレス

インドのカルカッタ(現在コルカタ)で始まった、マザー・テレサの活動。1980年代に撮影した、「死を待つ人の家」があるカリガート、「愛の贈り物」を意味するプレムダンなどの施設での活動の様子を収める。

2016:9./ 95p

978-4-89492-209-9

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2016/09/24



ひつじのショーン おもいでの木

金の星社

牧場主が庭の大きな木をきろうとしています。大好きな遊び場を奪われまいとショーンたちが邪魔しますが、牧場主はあきらめません。とうとう木にノコギリをかけた瞬間、牧場主の胸に木との大切な思い出がよみがえってきて……。

2016:8./ 32p

978-4-323-03081-4

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2016/09/25



ミスター・メルセデス<上>

スティーヴン・キング、白石 朗 著

文藝春秋

車を暴走させて八人の命を奪って消えた殺人犯。いま退職刑事の元にそいつからの挑戦状が。異常殺人犯と不屈の男の対決がはじまる！

2016:8./ 355p

978-4-16-390516-7

本体 ¥1,850+税



産経新聞 2016/09/25



ミスター・メルセデス<下>

スティーヴン・キング、白石 朗 著

文藝春秋

巧妙に足跡を消し、前回を上回る凶行へと一步一步、準備を進めるミスター・メルセデス。惨劇へのカウントダウンは始まっている。ホッジズと仲間たちは、殺人鬼をとめられるのか？ キング初の真つ向勝負のミステリー大作。

2016:8./ 359p

978-4-16-390517-4

本体 ¥1,850+税



* 9 7 8 4 1 6 3 9 0 5 1 7 4 *

産経新聞 2016/09/25



淵に立つ

深田 晃司 著

ポプラ社

平穏に暮らす家族のもとを一人の男が訪れ、奇妙な共同生活が始まる。「すでに崩壊していた家族」が徐々に露になり始めて…。第 69 回カンヌ国際映画祭の「ある視点」部門審査員賞受賞作を、監督自らが小説化。

2016:9./ 152p

978-4-591-15145-7

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 5 9 1 1 5 1 4 5 7 *

産経新聞 2016/09/25



日本国憲法の真実～偽りの起草者ベアテ・シロタ・ゴードン～

高尾 栄司 著

幻冬舎

日本国憲法の骨子となる人権条項の起草者として知られるベアテ・シロタ・ゴードン。憲法の門外漢だった若いベアテに起草などできたのか？どのような過程で書かれたのか？捏造の過程と実情を解き明かすノンフィクション。

2016:8./ 407p

978-4-344-02974-3

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 3 4 4 0 2 9 7 4 3 *

産経新聞 2016/09/25



イギリス解体、EU 崩落、ロシア台頭～EU 離脱の深層を読む～(PHP 新書 1060)

岡部 伸 著

PHP研究所

EU 離脱の騒動でいちばん得をしたのはロシア。今後大国として台頭するのか？山本七平賞を受賞した現地記者が経緯を解説、今後を占う。

2016:9./ 204p

978-4-569-83190-9

本体 ¥780+税



* 9 7 8 4 5 6 9 8 3 1 9 0 9 *

産経新聞 2016/09/25



小さな出版社のつくり方

永江 朗 著

猿江商會

ライフワークとして出版業界を見つめ続けてきた永江朗が、2000 年以降に新しく創業された「小さな」出版社、11 社の創業者 12 人にロングインタビューを敢行。右肩下がりの時代に、あえて「出版社をつくる」ことを選んだ彼らの素顔を描いた、渾身の書き下ろし！

2016:9./ 240p

978-4-908260-06-3

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 9 0 8 2 6 0 0 6 3 *

産経新聞 2016/09/25



娼婦の部屋・不意の出来事 改版(新潮文庫)

吉行 淳之介 著

新潮社

一娼婦の運命の変遷と、“私”の境遇の変化を照応させつつ描いて代表作とされる「娼婦の部屋」。他に洗練された筆致の多彩な作品集。

2002:6./ 354p

978-4-10-114302-6

本体 ¥550+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 4 3 0 2 6 *

朝日新聞 2016/09/04



それ、パワハラです～何がアウトで、何がセーフか～(光文社新書 591)

笹山 尚人 著

光文社

社会で急増する「パワハラ問題」への対策は、日本社会で喫緊の課題となっている。数多くの労働事件に携わってきた弁護士が、豊富な実例に基づき、その実態、法的な視点、具体的対策などについて解説する。

2012:7./ 212p

978-4-334-03694-2

本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/09/04



キャリア教育のウソ(ちくまプリマー新書 197)

児美川 孝一郎 著

筑摩書房

現在、学校や大学において展開されているキャリア教育はどのようなものなのか。そのどこに問題があるのか。若い人たちはキャリア教育とどう向き合えばよいのか。常識に振り回されずに自らの進路をつかみとる方法を教える。

2013:6./ 190p

978-4-480-68899-6

本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/09/04



生き心地の良い町～この自殺率の低さには理由がある～

岡 檀 著

講談社

全国でも極めて自殺率の低い「自殺“最”希少地域」、徳島県旧海部町。生き辛さを取り除く、町民たちのユニークな人生観と处世術を 4 年にわたる現地調査によって解き明かす。

2013:7./ 214p

978-4-06-217997-3

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2016/09/04



「ひきこもり」救出マニュアル<実践編>(ちくま文庫 さ29-6)

斎藤 環 著

筑摩書房

「ひきこもり」治療に詳しい著者が、「自殺したいと言う」「一生面倒を見てくれと言われた」「ひきこもりにインターネットは有効か」など具体的な疑問に答え、ひきこもりから抜け出す手だてを示す。

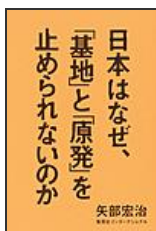
2014:6./ 302p

978-4-480-43168-4

本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/09/04



日本はなぜ、「基地」と「原発」を止められないのか

矢部 宏治 著

集英社インターナショナル

なぜ戦後 70 年たっても米軍が首都圏上空を支配しているのか?なぜ人類史上最悪の事故を起こした日本が原発を止められないのか?だれもおかしいと思いがら止められない、「戦後日本」の謎を解く。

2014:10./ 285p

978-4-7976-7289-3

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2016/09/04



僕たちはガンダムのジムである(日経ビジネス人文庫 つ2-1)

常見 陽平 著

日本経済新聞出版社

僕たちはガンダムにはなれない。ジムなのだ。「機動戦士ガンダム」の量産型 MS ジムから、普通の会社員の幸せな働き方を考える。ニュータイプになれない「僕たち」のための希望のキャリア論。馳浩との対談等を加えて文庫化。

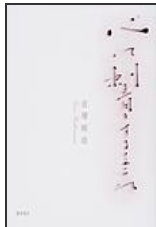
2015:12./ 266p

978-4-532-19782-7

本体 ¥850+税



朝日新聞 2016/09/04



心に刺青(いれずみ)をするように

吉増 剛造 著

藤原書店

現代詩の光跡の彼方を生きる詩人・吉増剛造。沖縄、遠野、ソウル…。幾つもの旅の中に、また小津安二郎、キーツらとの出会いの中に折りたたまれた“声”を写しとり、写真と詩で浮かびあがらせた作品集。『機』連載を単行本化。

2016:5./ 301p

978-4-86578-069-7

本体 ¥4,200+税



朝日新聞 2016/09/04



翻訳出版編集後記

常盤 新平 著

幻戯書房

早川書房での編集者、また翻訳家として、英米のエンターテインメント小説などに携わった経験を基に日本の翻訳出版を振り返る。

2016:5./ 317p

978-4-86488-098-5

本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2016/09/04



怪物君

吉増 剛造 著

みすず書房

生者と死者が交わる場所から、途方もないヴィジョンが立ち上がる。現代詩の最先端を疾走する詩人・吉増剛造の詩集。東日本大震災以来、書き続けてきた詩とドローイング、素描メモなどをまとめた作品。

2016:6./ 157p 図版 6

枚

978-4-622-07986-6

本体 ¥4,200+税



朝日新聞 2016/09/04



「平成の大合併」の政治経済学

中澤 克佳、宮下 量久 著

勁草書房

なぜ自治体は合併したのか。合併協議はどのように進んだのか。合併は自治体財政に何をもたらしたのか。「意思決定」「合意形成」「財政規律」というキーワードを基に、政治経済学的観点から「平成の大合併」を包括的に検証。

2016:6./ 11p,230p

978-4-326-30250-5

本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2016/09/04



カメリ(河出文庫 き6-3)

北野 勇作 著

河出書房新社

ヒトが消えた世界のカフェで、カメリは推論する。幸せってなんだろう?お客たちに喜んでほしいから、今日もカメリは奇跡を起こす。

2016:6./ 388p

978-4-309-41458-4

本体 ¥820+税



朝日新聞 2016/09/04



日本国民であるために〜民主主義を考える四つの問い〜(新潮選書)

互 盛央 著

新潮社

「電車で割り込みをされたとき、あなたは何を思いますか?」誰もが日常で抱く違和感と共に「民主主義の原理」を解明し、戦後日本のあまりに特異な姿を浮かび上らせる。私たちが日本国民であることの意味を問い直す試み。

2016:6./ 286p

978-4-10-603791-7

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2016/09/04



がん〜4000年の歴史〜<上>(ハヤカワ文庫 NF 467)

シッダールタ・ムカジー 著

早川書房

古代エジプト人を悩まし、現在も年間 700 万の命を奪う「がん」。現役医師が患者や医学者らの苦闘を鮮烈に綴る名著。解説／仲野徹

2016:6./ 501p

978-4-15-050467-0

本体 ¥920+税



朝日新聞 2016/09/04



がん〜4000年の歴史〜<下>(ハヤカワ文庫 NF 468)

シッダールタ・ムカジー 著

早川書房

古代エジプト人を悩まし、現在も年間 700 万の命を奪う「がん」。現役医師が患者や医学者らの苦闘を鮮烈に綴る名著。解説／仲野徹

2016:6./ 489p

978-4-15-050468-7

本体 ¥920+税



朝日新聞 2016/09/04



晩秋の陰画(ネガフィルム)

山本 一力 著

祥伝社

装丁家の高倉俊介の元に、バイク事故で他界した叔父の日記帳が届く。そこには親友の恋人への恋情が綴られていて…。予期せぬ事態が、心の奥底に潜む思いを炙り出す。現代ミステリー4編を収録。『小説 NON』掲載を単行本化。

2016:6./ 299p

978-4-396-63500-8

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/09/04



沖縄の新聞は本当に「偏向」しているのか

安田 浩一 著

朝日新聞出版

『琉球新報』と『沖縄タイムス』の記事は、本当に「偏向」しているのか。米軍基地が存在する沖縄で記者をやることとは。日々現場で取材する地元紙記者に直接話を聞き、沖縄の新聞の歴史的背景、その報道姿勢を探る。

2016:6./ 302p

978-4-02-251339-7

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2016/09/04



介護するからだ(シリーズケアをひらく)

細馬 宏通 著

医学書院

介護行為が撮影されているビデオを 1 コマ 1 コマ見る。そこには、言語以前にかしこい身体があった。目利きの人間行動学者が、ベテランワーカーの「神対応」のヒミツに迫る。『訪問介護と介護』の連載をもとに単行本化。

2016:6./ 279p

978-4-260-02802-8

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2016/09/04



自画像の思想史(五柳叢書 103)

木下 長宏 著

五柳書院

1 万 5 千年の歴史を持つ「自画像」とは、人類にとって何なのか。ラスコーの壁画から忌野清志郎まで、自画像の意味を読み解き、「自画像以降」の行方を探る。自画像を通して発見する人類史。

2016:6./ 597p,7p

978-4-901646-29-1

本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2016/09/04



乙女美術史<日本編>(角川文庫 ほ 22-3)

堀江 宏樹、滝乃 みわこ 著

KADOKAWA

萌絵の発祥から美青年との男色まで。乙女目線で読み解けば、日本の美術はこんなにディープで面白い。歴女から圧倒的な支持を集めた大人気シリーズ第3弾！春画コラム・猫絵の歴史を豪華書き下ろし

2016:7./ 236p

978-4-04-104026-3

本体 ¥640+税



朝日新聞 2016/09/04



過去をもつ人

荒川 洋治 著

みすず書房

過ぎ去ったものが厚みをまし、世界をつくりつつける。過去の新しい見方、読み方も必要になるのだろう…。新聞などに発表されたエッセイの中から、読書にかかわる 61 編を選び、書き下ろし「銅のしずく」を加えて単行本化。

2016:7./ 227p

978-4-622-08520-1

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2016/09/04



星間ブリッジ<1>(ゲッサン少年サンデーコミックス)

きゅつきゅぼん 著

小学館

鬼才が描く上海と戦争。日中戦争時の“魔都”上海を舞台に日本人少女と中国人少年が絆を紡ぐビルドゥングスロマン開幕！

2016:8./ 200p

978-4-09-127377-2

本体 ¥552+税



朝日新聞 2016/09/04



日本水没(朝日新書 571)

河田 恵昭 著

朝日新聞出版

【自然科学/自然科学総記】災害研究の第一人者が緊急警告！止まらぬ地球温暖化で殺人級大雨が日本を壊滅させる。豪雨のメカニズムと日本の深刻な水害リスクを解き、治水の歴史・現状と今後の対策を提示。「熊本地震」の原因や今後の課題についても考察。

2016:7./ 303p

978-4-02-273671-0

本体 ¥820+税



朝日新聞 2016/09/04



魚が食べられなくなる日(小学館新書 278)

勝川 俊雄 著

小学館

クロマグロ、ウナギは絶滅危惧種、ホッケは 9 割減、ニシン漁はほぼ壊滅状態…。気鋭の水産学者が、乱獲による漁業資源の危機的状況を明らかにし、海外漁業国の成功例も含めて、日本の魚食文化を守るための方策を綴る。

2016:8./ 205p

978-4-09-825278-7

本体 ¥780+税



朝日新聞 2016/09/04



ずんずん!

山本 一力 著

中央公論新社

纏ミルク浜町店の新年の仕事ははじめは午前 4 時。配達員の田代は、湯川さん宅の保冷ボックスに小さな異変を発見…。牛乳宅配店主と地域の仲間たちのおいしく温かな日々を描く。『婦人公論』連載を加筆修正し単行本化。

2016:7./ 435p

978-4-12-004865-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/09/04



サッカーと愛国

清 義明 著

イースト・プレス

「JAPANESE ONLY」横断幕、旭日旗問題、ネオナチとフーリガン、欧州クラブ事情…。サッカーはレイシズムとどう闘ってきたのか？サッカーとナショナリズムの複雑な関係を、フィールドワークをもとに記す。

2016:7./ 295p

978-4-7816-1218-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/09/04



登山外来へようこそ(角川新書 K-97)

大城 和恵 著

KADOKAWA

登山ブームの現在、遭難者も過去最高を記録している。日本人初の国際山岳医資格を取得、三浦雄一郎氏のエベレスト遠征隊にもチームドクターとして参加する著者による「登山者のための必須の知識」。

2016:8./ 192p

978-4-04-082073-6

本体 ¥920+税



朝日新聞 2016/09/04



魅惑のヴィクトリア朝～アリスとホームズの英国文化～(NHK 出版新書 494)

新井 潤美 著

NHK出版

英国らしい「島国根性」的な価値観と美意識が形成されたのは、大英帝国が産業革命を達成し、近代の扉を開けたヴィクトリア朝の時代であった。ヴィクトリア朝期の文学・美術・映画などの作品を通じて、英国文化の真髄を探る。

2016:8./ 221p

978-4-14-088494-2

本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/09/04



その島のひとたちは、ひとの話をきかない～精神科医、「自殺希少地域」に行く～

森川 すいめい 著

青土社

数々の支援活動で注目をあびる精神科医が、生きやすさのヒントを探す旅に出た。5 か所 6 回、日本の自殺希少地域(自殺で亡くなるひとが少ない地域)に行つて、それぞれ約 1 週間前後宿泊したときの記録。

2016:6./ 193p

978-4-7917-6931-5

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2016/09/04、日本経済新聞 2016/09/18



「決め方」の経済学～「みんなの意見のまとめ方」を科学する～

坂井 豊貴 著

ダイヤモンド社

大阪都構想の住民投票から何が読み取れるか？共同利用する施設の費用分担は、どう決めればよいのか？多数決の致命的な欠陥を経済学で暴き、経済学的に「正しい決め方」を探る。

2016:6./ 222p

978-4-478-06487-0

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/09/04、日本経済新聞 2016/09/18



週末介護

岸本 葉子 著

晶文社

仕事との両立、きょうだい間意見の調整、親の変化への覚悟、お下問題…。90 歳、認知症の父を送った著者が、誰にも訪れる介護の日々を実践的かつ飄々とつづった介護エッセイ。

2016:7./ 317p

978-4-7949-6930-9

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/09/04、日本経済新聞 2016/09/18



海からの贈物 改版(新潮文庫)
リンダーバーグ夫人、吉田 健一 著
新潮社
朝日新聞 2016/09/11

1993:1./ 117p
978-4-10-204601-2
本体 ¥430+税



芸人その世界(岩波現代文庫)
永 六輔 著
岩波書店
朝日新聞 2016/09/11

2005:5./ 364p
978-4-00-602090-3
本体 ¥1,000+税



志賀直哉全集<第8巻> 山鳩 朝の試写会
志賀 直哉 著
岩波書店
朝日新聞 2016/09/11

1999:7./ 414p
978-4-00-092218-0
本体 ¥4,000+税



まあ映画な、岡山じゃ県!〜シネマ珍風土記〜
世良 利和、いしい ひさいち 著
蜻蛉文庫
岡山関連の映画に、軽快な文章と、いしいひさいち描き下ろし4コマ漫画で、鋭く突っ込みを入れた超ローカルな映画エッセイ

2013:3./ 229p
978-4-904789-07-0
本体 ¥1,600+税

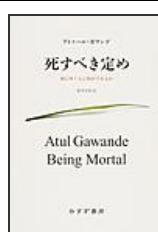
朝日新聞 2016/09/11



日本人はどこから来たのか?
海部 陽介 著
文藝春秋
世界各地の遺跡の年代調査比較、DNA 分析、石器の比較研究…。国立科学博物館気鋭の人類学者の重層的な調査により、これまでほとんど語られたことのない、祖先たちのアフリカから日本列島へ至る大移動の歴史を描き出す。

2016:2./ 213p
978-4-16-390410-8
本体 ¥1,300+税

朝日新聞 2016/09/11



死すべき定め〜死にゆく人に何ができるか〜
アトゥール・ガワンデ、原井 宏明 著
みすず書房
私たちは豊かに生きることに精いっぱい、「豊かに死ぬ」ために必要なことをこんなにも知らない。全米 75 万人の人生観を変えた、現役外科医にして『ニュー Yorker』誌のライターである著者が描く、迫真の人間ドラマ。

2016:6./ 10p,278p,10p
978-4-622-07982-8
本体 ¥2,800+税

朝日新聞 2016/09/11



希望荘(杉村三郎シリーズ)
宮部 みゆき 著
小学館
家族と仕事を失った杉村三郎は、東京都北区に私立探偵事務所を開業した。ある日、亡き父が残した「人を殺した」という告白を調査してほしいとの依頼があり…。表題作ほか全4編を収録。『STORY BOX』掲載等を書籍化。

2016:6./ 460p
978-4-09-386443-5
本体 ¥1,750+税

朝日新聞 2016/09/11



治部の礎

吉川 永青 著

講談社

天下人を目指す秀吉のもと、綺羅星の如く登場し活躍する武将たちを差し置いて、最も栄達した男、石田三成。戦国を終わらせ、この国を造る。三成の「義」は誰のためにあったのか。日本の礎を築いた男を描く歴史長編。

朝日新聞 2016/09/11

2016:7./ 405p

978-4-06-220051-6

本体 ¥1,850+税



まあ映画な、岡山じゃ県～シネマ珍風土記～<2>

世良 利和、いしい ひさいち 著

蜻文庫

あなたの知らない「岡山」を掘り起こす! 岡山にちょっとでも関係のある映画に、エッセイと4コマ漫画でツッコミを入れた問答無用のローカル映画論、第2弾。『山陽新聞』連載を大幅に加筆再編集して単行本化。

朝日新聞 2016/09/11

2016:8./ 238p

978-4-904789-09-4

本体 ¥1,600+税



孫文～近代化の岐路～(岩波新書 新赤版 1613)

深町 英夫 著

岩波書店

「専制王朝の打倒」と「民主共和国の樹立」を唱えた革命家は、その後、党による独裁的支配を提唱した。民主と独裁がやがてひとつになることを信じてやまなかった孫文の思想と生涯を追う。

朝日新聞 2016/09/11

2016:7./ 7p,219p,9p

978-4-00-431613-8

本体 ¥840+税



レオナルド・ダ・ヴィンチの秘密～天才の挫折と輝き～

コスタンティーノ・ドラッツィオ、上野 真弓 著

河出書房新社

謎多きダ・ヴィンチの人生には多くの挫折と失敗があった。知られざる天才の光と影を丹念に描き、世界中を魅了する作品の軌跡に迫る。

朝日新聞 2016/09/11

2016:7./ 317p 図版

16p

978-4-309-25566-8

本体 ¥2,800+税



脳外科医マーシュの告白

ヘンリー・マーシュ、栗木 さつき 著

NHK出版

名医とはどんな医師か、良き死とは何か…。イギリスを代表する脳神経外科医が、医療現場の真実やドラマを臨場感溢れる筆致で描き出し、医療や生命をめぐる根源的な問いをつきつけるノンフィクション。

朝日新聞 2016/09/11

2016:6./ 356p

978-4-14-081703-2

本体 ¥2,000+税



世界中で迷子になって(小学館文庫 か 29-3)

角田 光代 著

小学館

はじめに世界があると知る、旅はいつからはじまっているのか、セールはお得か、ひとめぼれの値段…。旅とモノについて、著者ならではの視点、本音が満載のエッセイ集。書き下ろしエッセイ「2016年未来の旅」も収録。

朝日新聞 2016/09/11

2016:8./ 300p

978-4-09-406323-3

本体 ¥610+税





すごい駅!～秘境駅、絶景駅、消えた駅～(文春文庫 う33-1)

横見 浩彦、牛山 隆信 著

文藝春秋

秘境駅から消えた駅まで。日本の珍駅 100 選! 静かなブーム秘境駅めぐりに必携! 北海道の板切れ駅から海沿いの絶景駅、旅遺産としての廃駅まで。鉄旅界最強の二人が語り尽くす。

2016:8./ 328p

978-4-16-790687-0

本体 ¥750+税



朝日新聞 2016/09/11



美の世界旅行(新潮文庫 お-51-3)

岡本 太郎 著

新潮社

70 年代、世界を旅した岡本太郎。恐れと憧れを抱き続けたインド、熱く壮大なスペイン、全身が震えるほど愛するメキシコ、人生観が変わった韓国…。各国の美術と建築を独自の視点で語り尽くす、美の世界旅行の全記録。

2016:8./ 285p

978-4-10-134623-6

本体 ¥520+税



朝日新聞 2016/09/11



宇宙からみた生命史(ちくま新書 1203)

小林 憲正 著

筑摩書房

生命誕生の謎を解き明かす鍵は「宇宙」にある。惑星探索や宇宙観測によって判明した新事実と従来の化学進化的プロセスをあわせ論じて描く最先端の生命史。

2016:8./ 229p,6p

978-4-480-06907-8

本体 ¥800+税



朝日新聞 2016/09/11



生殖医療の衝撃(講談社現代新書 2383)

石原 理 著

講談社

日本で生まれるこどもの約 32 人に 1 人は、出生前にマイナス 196 度の液体窒素タンクで凍結保存されている。いまや卵子と精子もネット通販の時代に! 生殖医療の第一人者がその最前線をレポートする。

2016:8./ 200p

978-4-06-288383-2

本体 ¥800+税



朝日新聞 2016/09/11



戦艦武蔵～忘れられた巨艦の航跡～(中公新書 2387)

一ノ瀬 俊也 著

中央公論新社

1944 年にレイテ沖海戦で撃沈された武蔵は、敗戦後、長きにわたり半ば忘れられた存在だった。高い人気を保った大和との差はどこから生まれたのか。建造から沈没までの軌跡を追い、さらには戦後日本の戦争観の変遷をたどる。

2016:7./ 301p

978-4-12-102387-2

本体 ¥860+税



朝日新聞 2016/09/11



アキオ...(ビッグコミックススペシャル)

村上 たかし 著

小学館

愛する妻子を守るため、間男の義父になる! 分不相応な美しい妻子を持つ冴えない中年アキオは幸せだった。妻の元カレが現れるまでは。離婚を迫られたアキオは決断する! 間男・元カレの義父になることを!

2016:8./ 224p

978-4-09-187817-5

本体 ¥630+税



朝日新聞 2016/09/11



となりのイスラム～世界の3人に1人がイスラム教徒になる時代～

内藤 正典 著

ミシマ社

連日ニュースで耳にする「イスラム」の話題。テロや人質といった怖いイメージがつきまとうけれど、本当はいったいどんな人たちなの？ シリア・トルコ研究第一人者が、イスラム教徒の人間像と社会をわかりやすく紹介する。

2016:7./ 252p

978-4-903908-78-6

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2016/09/11



天下を計る

岩井 三四二 著

PHP研究所

“算用”を武器に戦国を生きる！ 秀吉の天下取りを裏から支え、家康の心胆を寒からしめた男・長束正家の生涯を描く著者渾身の長編小説。

2016:8./ 381p

978-4-569-83107-7

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/09/11



ベ切本

左右社集部 編

左右社

なぜか勇気がわいてくる！ 夏目漱石、谷崎潤一郎、谷川俊太郎、吉本ばなな、西加奈子ら、明治から現在にいたる 90 人の書き手たちによる、泣けて笑えて役に立つベ切にまつわるエッセイ・手紙・日記・対談などを収録する。

2016:9./ 365p

978-4-86528-153-8

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2016/09/11、読売新聞 2016/09/11、産経新聞 2016/09/25



<インターネット>の次に来るもの～未来を決める12の法則～

ケヴィン・ケリー、服部 桂 著

NHK出版

人工知能、仮想現実、拡張現実、ブロックチェーン、IoT…。今後 30 年の間にわれわれの未来が不可避免的に向かう先を、「ビカミング」「アクセシング」「トラッキング」など、12 のキーワードから読み解く。

2016:7./ 401p,13p

978-4-14-081704-9

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2016/09/11、読売新聞 2016/09/18、日本経済新聞 2016/09/18



宗教を物語でほどく～アンデルセンから遠藤周作へ～(NHK 出版新書 493)

島蘭 進 著

NHK出版

宮沢賢治、トルストイ、カズオ・イシグロ、西加奈子…。近現代の童話・小説を取り上げ、「死」「弱さ」「悪」「苦難」という 4 つのキーワードを通して、宗教学の泰斗が宗教とは何かをやさしく解きほぐす。

2016:8./ 317p

978-4-14-088493-5

本体 ¥860+税



朝日新聞 2016/09/11、読売新聞 2016/09/25、日本経済新聞 2016/09/25



人間さまお断り～人工知能時代の経済と労働の手引き～

ジェリー・カプラン、安原 和見 著

三省堂

人工知能技術の進歩に伴い、「人間さまお断り」の時代は必ずやってくる。そのときに備え、人類はどんな手を打つべきなのか。AI研究に草創期から関わった著者が、IT起業家としての視点から大胆に切り込む一冊。

2016:8./ 268p

978-4-385-36059-1

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2016/09/11、日本経済新聞 2016/09/25



トランプ現象とアメリカ保守思想～崩れ落ちる理想国家～

会田 弘継 著

左右社

アメリカ・ファースト!移民排斥!日米同盟廃棄!25 年前、トランプとまったく同じ政策を掲げた大統領候補がいた。知られざるアメリカ保守思想の最深部から、トランプ現象の真の意味を探る。

2016:8./ 205p

978-4-86528-152-1

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 8 6 5 2 8 1 5 2 1 *

朝日新聞 2016/09/11、毎日新聞 2016/09/18



職人(岩波新書 新赤版)

永 六輔 著

岩波書店

朝日新聞 2016/09/11、毎日新聞 2016/09/25

1996:10./ 210p

978-4-00-430464-7

本体 ¥740+税



* 9 7 8 4 0 0 4 3 0 4 6 4 7 *



道<平成 11 年～平成 20 年> 天皇陛下御即位二十年記念記録集

天皇、皇后、宮内庁 著

NHK出版

平成 11 年以降、天皇皇后両陛下が式典で述べられたお言葉や、記者会見における御回答、年毎に要請に応じ御発表になった御製や御歌等を、なるべく項目別に整理して収録。10 年間の両陛下の道のりをたどれる、珠玉のお言葉集。

2009:9./ 592p 図版

20p

978-4-14-081389-8

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 1 4 0 8 1 3 8 9 8 *

朝日新聞 2016/09/18



道<平成元年～平成 10 年> 天皇陛下御即位十年記念記録集

天皇、皇后、宮内庁 著

NHK出版

平成元年から 10 年まで、天皇皇后両陛下が式典で述べられたお言葉や、記者会見における御回答、年毎に要請に応じ御発表になった御製や御歌等を、項目別に整理して収録。10 年間の両陛下の道のりをたどれる、珠玉のお言葉集。

2009:9./ 509p 図版

20p

978-4-14-081390-4

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 1 4 0 8 1 3 9 0 4 *

朝日新聞 2016/09/18



昭和天皇退位論のゆくえ(歴史文化ライブラリー 379)

富永 望 著

吉川弘文館

昭和天皇が譲位し、昭和が早く終わる可能性は 4 回あった。天皇の戦争責任に端を発した退位問題はいかに巻き起こり、論議されたのか。日本社会における天皇の位置づけを考え、戦後日本人が選択しなかった道を探る。

2014:6./ 6p,216p

978-4-642-05779-0

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 6 4 2 0 5 7 7 9 0 *

朝日新聞 2016/09/18



終戦詔書と日本政治～義命と時運の相克～

老川 祥一 著

中央公論新社

繰り返された字句・文言の修正-。終戦詔書作成のドラマを検証し、戦前から戦後、そして現代にまでおよぶ日本政治の病根を明らかにする。詔書原本に加え、原案類全史料もカラーで掲載。

2015:4./ 413p

978-4-12-004713-8

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 1 2 0 0 4 7 1 3 8 *

朝日新聞 2016/09/18



小島信夫短篇集成<7> 月光/平安

小島 信夫 著

水声社

日本文学に新風を吹き込んだ小島信夫の野心的・挑戦的な短篇群を網羅。第 7 巻は、「月光」「すばらしい一日」「平安」など、1982 年 4 月から 1989 年 11 月までに発表された作品 22 作を初出年月日順に収録する。

2015:4./ 561p

978-4-8010-0067-4

本体 ¥7,000+税



朝日新聞 2016/09/18



光の庭

吉川 トリコ 著

光文社

成人式の数日後、高校時代の仲良し 5 人組のひとり、三千花がバラバラ死体で発見された。16 年後、三千花をテーマにルポを書こうと取材をはじめた志津だが、そこには女たちの深い闇と絶望が渦巻いていて...

2016:2./ 296p

978-4-334-91077-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/09/18



テレビは男子一生の仕事〜ドキュメンタリスト牛山純一〜

鈴木 嘉一 著

平凡社

『ノンフィクション劇場』をはじめ、「テレビ第一期生」としてドキュメンタリーの地平を切り拓いた伝説的プロデューサーの生涯。

2016:7./ 358p

978-4-582-83732-2

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2016/09/18



明仁天皇と戦後日本(歴史新書 y 059)

河西 秀哉 著

洋泉社

「国民と苦楽をともにする」姿勢の原点とは?現在の象徴天皇制のありようを規定している明仁天皇に焦点をあて、その戦後のあゆみを概観。戦後社会の姿や象徴天皇制とは何かを明らかにする。

2016:6./ 191p

978-4-8003-0968-6

本体 ¥950+税



朝日新聞 2016/09/18



30 代記者たちが出会った戦争〜激戦地を歩く〜(岩波ジュニア新書 836)

共同通信社会部 編

岩波書店

太平洋戦争の激戦地に足を運び、日本兵の話に耳を傾けた 30 代の記者たちが、当時の状況に思いをはせつつ、戦地の実相を明らかにする。全国各地の地方紙に連載された「遠い戦地で」および「戦争 日本兵たちは」を大幅加筆。

2016:7./ 11p,225p

978-4-00-500836-0

本体 ¥900+税



朝日新聞 2016/09/18



鬼うたひ

白崎 映美 著

亜紀書房

90 年代を風靡したバンド「上々颱風」。そのヴォーカル白崎映美が、酒田大火を経験した山形での少女時代から、上京後の東京暮らしと音楽活動、愛してやまない大阪・釜ヶ崎の町まで、まるごと書き下ろした熱き半生の軌跡。

2016:6./ 199p

978-4-7505-1466-6

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2016/09/18



野蠻から生存の開発論～越境する援助のデザイン～

佐藤 仁 著

ミネルヴァ書房

開発の技術を俯瞰し、方向性が大きく変化する歴史の転換点を思想的に見つめ、日本から「国際開発」を世界へと発信する意味を模索。そのうえで、歴史的見地から開発が人間にとって持つ意味を、学問として位置付ける。

朝日新聞 2016/09/18

2016:6./ 22p,310p,8p

978-4-623-07677-2

本体 ¥3,000+税



プライベートバンカー～カネ守りと新富裕層～

清武 英利 著

講談社

ノルマ 100 億円、顧客は本物の大金持ちのみ。富裕層をタックスヘイブンの国に誘う「カネの傭兵たち」-プライベートバンカーの素顔とは。バンカーが実名で明かす、本格ノンフィクション。『週刊現代』連載に新規取材を追加。

朝日新聞 2016/09/18

2016:7./ 265p

978-4-06-220199-5

本体 ¥1,600+税



星野道夫 風の行方を追って

湯川 豊 著

新潮社

そこで語られるのは、自然と人間についての深い「物語」-没後 20 年。写真と文章に刻まれた魂の軌跡を追う、星野道夫論の決定版!

朝日新聞 2016/09/18

2016:7./ 204p

978-4-10-314932-3

本体 ¥1,600+税



少女は花の肌をむく

朝比奈 あすか 著

中央公論新社

自由奔放な野々花。プライドの高い阿佐。繊細な感性をもつ咲。一瞬で過ぎ去ってしまう少女たちの“性と生”の彷徨を掬いとった長篇。『アンデル 小さな文芸誌』連載を加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2016/09/18

2016:6./ 239p

978-4-12-004858-6

本体 ¥1,500+税



星野道夫(別冊太陽)

星野 直子 著

平凡社

アラスカの自然や人々を撮り続けた写真家の足跡を 85 点の写真、取材ノート、直筆原稿、アルバムや青春時代の未発表書簡などで辿る。

朝日新聞 2016/09/18

2016:8./ 151p

978-4-582-92242-4

本体 ¥2,400+税



永い言い訳(文春文庫 に20-2)

西川 美和 著

文藝春秋

妻が死んでも泣けない男のラブストーリー。映画化話題作 予期せず家族を失った者たちは、どのように人生を取り戻すのか——。人を愛することの「素晴らしさと歯がゆさ」を描ききった物語。

朝日新聞 2016/09/18

2016:8./ 341p

978-4-16-790670-2

本体 ¥650+税





金融政策の「誤解」～“壮大な実験”の成果と限界～

早川 英男 著

慶應義塾大学出版会

日銀は何ができて、何ができないのか。緩和一辺倒の政策手段から、いかに脱却するか。日銀きっての論客といわれた著者が、日銀を退職後、ついに沈黙を破って持論を展開。金融政策など、日本経済に関する多くの「誤解」を正す。

2016:7./ 8p,288p

978-4-7664-2356-3

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2016/09/18



集合住宅～二〇世紀のユートピア～(ちくま新書 1204)

松葉 一清 著

筑摩書房

二〇世紀に建設された集合住宅は、庶民に快適な生活をという強い理念に支えられていた。ウィーン、パリ、軍艦島。世界中に遺されたユートピア計画の軌跡を追う。

2016:8./ 254p

978-4-480-06908-5

本体 ¥820+税



朝日新聞 2016/09/18



近代日本の公衆浴場運動

川端 美季 著

法政大学出版局

江戸時代に庶民の社交場として興隆した湯屋は、明治・大正期に行政が主導する保健衛生施設へと変容した。日本が近代国家に生まれ変わるための都市政策として営まれたさまざまな浴場をつうじて、衛生と統治権力の関係を見る。

2016:8./ 291p,19p

978-4-588-32603-5

本体 ¥5,800+税



朝日新聞 2016/09/18



はたらくことは、生きること～昭和30年前後の高知～

石田 榮、堀 瑞穂 著

羽鳥書店

働くことは生きること、いっしょうけんめい生きること。戦後まもない高知の鉱山・漁村・農山村で働く人びとのかげやく姿を、鮮やかにとらえたアマチュア写真家の、深い共感のまなざし。

2016:7./ 1冊(ページ付なし)

978-4-904702-62-8

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2016/09/18



いい人ランキング

吉野 万理子 著

あすなろ書房

「いい人」でいれば、安全だと思っていた。夏休み明けの教室で起こった小さな変化。それは、やがて…。不器用な人にエールをおくる、ほろにが青春小説!

2016:8./ 254p

978-4-7515-2861-7

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2016/09/18



弱いつながり～検索ワードを探す旅～(幻冬舎文庫 あ-59-1)

東 浩紀 著

幻冬舎

私たちは考え方も欲望も今いる環境に規定され、ネットの検索ワードさえグーグルに予測されている。それでも、人生をかけがえのないものにしたいならば、新しい検索ワードを探すしかない。SNS時代の挑発的人生論。

2016:8./ 181p

978-4-344-42501-9

本体 ¥540+税



朝日新聞 2016/09/18



鉄腕アダム<1>(ジャンプコミックス)

吾嬬 竜孝 著

集英社

世界大戦・大気汚染・動植物の絶滅...死にかけの地球と人類に、謎の飛翔体「蝶」が次々と襲来する。蝶を倒せるのは人と同じ心をもったヒューマノイドのアダムだけ。人類存亡をかけた、史上最も熾烈な夏がはじまる。

2016:9./ 208p

978-4-08-880771-3

本体 ¥400+税



朝日新聞 2016/09/18



武器としての人口減社会～国際比較統計でわかる日本の強さ～(光文社新書 834)

村上 由美子 著

光文社

労働生産性、女性活躍推進、起業家精神など、さまざまな分野において先進国中、最低レベルの日本。その弱みを強みに変え、課題先進国として強い国になる政策案を豊富な統計をもとに考える。

2016:8./ 203p

978-4-334-03937-0

本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/09/18



世界マヌケ反乱の手引書～ふざけた場所の作り方～

松本 哉 著

筑摩書房

国や大企業に頼らず、金をあまり使わないで楽しく生きる奴らが、交流する場所を作って繋がり、世界をひっくり返す愉快な方法! 帯文 いとうせいこう他

2016:9./ 209p, 11p

978-4-480-81533-0

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2016/09/18



地震と独身(新潮文庫 さ-23-12)

酒井 順子 著

新潮社

東日本大震災で独身者は何を考え、どう動いたのか。結婚、仕事、親、将来...。「家族の絆」が強調される一方で、報じられることのなかった独身者たちの新たなつながりの可能性の物語を、インタビューをもとに綴る。

2016:9./ 389p

978-4-10-135122-3

本体 ¥630+税



朝日新聞 2016/09/18



あの夏、兵士だった私～96歳、戦争体験者からの警鐘～

金子 兜太 著

清流出版

96歳の反骨の俳人、金子兜太はどのように戦後を生き、いまを見るのか? トラック島の数少ない元兵士が、戦場の日常、非業の死、食糧難など、悲惨な戦場体験を語り、安倍政権の暴走に警鐘を鳴らす。

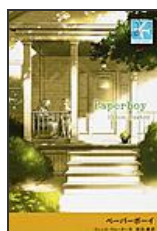
2016:8./ 203p

978-4-86029-451-9

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/09/18



ペーパーボーイ(STAMP BOOKS)

ヴィンス・ヴォーター 著

岩波書店

1959年、メンフィス。ぼくは夏休みのあいだ、友達の代わりに新聞配達をすることになった。すぐどもるせいで人と話すのは緊張する。でもその夏は、思いもよらない個性的な人たちとの出会いと、そして事件が待っていた。

2016:7./ 290p

978-4-00-116411-4

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2016/09/24



ぐやんよやん

長谷川 摂子、ながさわ まさこ 著
福音館書店

「ぐやんよやん」「ほんやーぞぞぞびーん」「じんじんじずー」「ほんによろぷわー」…。リズムと抑揚のあることばが絵といっしょになって、体に響いてくる絵本。

朝日新聞 2016/09/24

2016:8./ 23p

978-4-8340-8274-6

本体 ¥900+税



ひまなこなべ〜アイヌのむかしばなし〜

萱野 茂、どい かや 著
あすなる書房

絵本作家どいかやがライフワークとして取り組む、先住民の昔話絵本第1弾！位の高い熊の神が、踊りの上手な若者に惹かれ、度々地上に降りてくる。はたして、その若者の正体は？

朝日新聞 2016/09/24

2016:8./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-7515-2819-8

本体 ¥1,400+税



博士の愛した数式(新潮文庫)

小川 洋子 著
新潮社

[ぼくの記憶は 80 分しかもたない]博士の背広の袖には、そう書かれた古びたメモが留められていた。記憶力を失った博士にとって、私は常に“新しい”家政婦。博士は“初対面”の私に、靴のサイズや誕生日を尋ねた。数字が博士の言葉だった。

朝日新聞 2016/09/25

2005:11./ 291p

978-4-10-121523-5

本体 ¥520+税



「赤」の誘惑〜フィクション論序説〜

蓮実 重彦 著
新潮社

名作の中にひっそりと生れ、作者と読者を静かに誘い、やがて炎の如く世界を染め上げる魔性の色＝「赤」。この魔性の色と「フィクション」との、驚きに満ちた関係性を徹底的に考察する。

朝日新聞 2016/09/25

2007:3./ 284p

978-4-10-304351-5

本体 ¥2,400+税



走れ!タカハシ(講談社文庫)

村上 龍 著
講談社

朝日新聞 2016/09/25

1989:5./ 257p

978-4-06-184444-5

本体 ¥495+税



広島学(新潮文庫 い 54-5)

岩中 祥史 著
新潮社

朝日新聞 2016/09/25

2011:6./ 380p

978-4-10-126025-9

本体 ¥552+税





神様のいない日本シリーズ(文春文庫 た 85-1)

田中 慎弥 著
文藝春秋

「野球をやっているか」失踪した父親から少年のもとに葉書が届く。父親の願いをかなえるべきか、野球を嫌悪する母親に従うべきか、少年の心は揺れる。そんななか、少年は憧れの同級生とある劇を上演することになり…。

2012:4./ 174p
978-4-16-783501-9
本体 ¥476+税



朝日新聞 2016/09/25



新・平家物語<1>(新潮文庫 よ-3-20)

吉川 英治 著
新潮社

時は平安時代末、己の利益のみを考え、民衆の心を省みない公卿政治の退廃は、新しい勢力である武士の台頭を招いた。優れた武者であり、政治家でもある平清盛は大志を胸に秘め、武門の頂点へと登りつめていく…。

2014:2./ 632p
978-4-10-115470-1
本体 ¥670+税



朝日新聞 2016/09/25



二塁手革命(光文社新書 748)

菊池 涼介 著
光文社

2年連続でゴールデングラブ賞を獲得し、今や日本を代表する二塁手となった広島東洋カープの菊池涼介。彼はいったい試合中に何を考えプレーしているのか? 野球観からプライベートまで素顔を披露した一冊。

2015:4./ 198p 図版
16p
978-4-334-03851-9
本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/09/25



赤ファンのつぶやき(Nichibun Comics)

野村 宗弘 著
日本文芸社

カープファンの、カープファンによる、カープファンのための、広島カープ・パイプルのファンコミック誕生!! 広島出身、生まれてからずっとカープファンの作者が描くのは、一冊丸々カープネタのみ!!

2015:11./ 160p
978-4-537-13364-6
本体 ¥556+税



朝日新聞 2016/09/25



道徳感情はなぜ人を誤らせるのか～冤罪、虐殺、正しい心～

管賀 江留郎 著
洋泉社

すべての悲劇の原因は、人間の正しい心だった! 戦時の難事件「浜松事件」を解決した名捜査官が戦後に起こした冤罪事件の内の一つ「二俣事件」。彼に立ち向かった刑事が遺した書から、昭和史の裏に隠された謎を解明する。

2016:5./ 525p, 10p
978-4-8003-0745-3
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2016/09/25



広島カープ最強のベストナイン(光文社新書 817)

二宮 清純 著
光文社

名うてのカープウォッチャーが、OB・現役の中からベストナインを決定! 投手は先発3人と中継ぎ・抑えを1人ずつ、そして監督も加え、計14人にインタビューする。

2016:5./ 232p
978-4-334-03920-2
本体 ¥740+税



朝日新聞 2016/09/25



ブラックバイトに騙されるな!

大内 裕和 著

集英社クリエイティブ

学生に過酷な労働条件を強いるブラックバイトの巧妙な手口とは?やめたくてもやめられないバイトから抜け出す方法、身を守る方法とは?困っている本人に仲間・友人、大人たちは何ができるのか?

2016:7./ 207p

978-4-420-31075-8

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2016/09/25



炭坑(ヤマ)の絵師 山本作兵衛

宮田 昭 著

書肆侃侃房

筑豊炭坑の盛衰を縦軸に、半世紀を炭坑で過ごした作兵衛の記憶を横軸に...炭坑(ヤマ)の絵師・山本作兵衛の人生を炭坑絵と共に辿る。著者が直接聞いた作兵衛の肉声を伝える、確かな記録。世界記憶遺産登録への経緯も紹介。

2016:7./ 383p

978-4-86385-227-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2016/09/25



バカ田大学講義録なのだ!~赤塚不二夫生誕 80 年企画~

泉 麻人、みうら じゅん、久住 昌之、会田 誠、鴻上 尚史、坂田 明、茂木 健一郎、三上 寛、宇川 直宏、養老 孟司、喰 始、浅葉 克己、河口 洋一郎、原島 博 著

文藝春秋

2015 年 12 月?2016 年 3 月に東京大学で開講された「バカ田大学」の名講義を書籍化。養老孟司、茂木健一郎、みうらじゅんなど、様々な分野で活躍する 12 組の講師が、“赤塚イズム”を独自の視点で解き明かす。

2016:7./ 303p

978-4-16-390487-0

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2016/09/25



忘却された支配~日本のなかの植民地朝鮮~

伊藤 智永 著

岩波書店

骨と碑、強制の記憶は日本のそこかしこにあった。日本の炭鉱で、特攻で、国内各地で死んだ植民地朝鮮出身の犠牲者を想起し、追悼しようとする人びとの営みをたどる。『毎日新聞』連載をもとに単行本化。

2016:7./ 5p,209p

978-4-00-024791-7

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2016/09/25



マルセル・デュシャンとアメリカ~戦後アメリカ美術の進展とデュシャン受容の変遷~

平芳 幸浩 著

ナカニシヤ出版

戦後アメリカ、新芸術の旗手たちはデュシャン/レディメイドに何を見、何を望んだか?彼らの言説から導く新たなデュシャン論。

2016:7./ 9p,311p

978-4-7795-1063-2

本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2016/09/25



ベースボールサミット<第 11 回> 特集広島東洋カープ

『ベースボールサミット』編集部 著

カンゼン

野球界の重要テーマを多士済々の論客が論じる「ベースボールサミット」。第 11 回目の議題は「広島東洋カープ」。選手やフロント、OB、球団関係者が、カープ好調の要因と優勝に向けてのポイントを語り尽くす。

朝日新聞 2016/09/25

2016:7./ 230p

978-4-86255-364-5

本体 ¥1,300+税



徹底解説!アメリカ～波乱続きの大統領選挙～(ポプラ新書 100)

池上 彰、増田 ユリヤ 著

ポプラ社

波乱続きのアメリカ大統領選挙の裏には、経済格差による民意の分断と、中央政府への不信があった。世界に大きな影響を与えるアメリカ大統領選挙を、渾身の現地ルポと鋭い視点で徹底解説する。

朝日新聞 2016/09/25

2016:8./ 233p

978-4-591-15112-9

本体 ¥800+税



赤ヘル 1975(講談社文庫 し 61-23)

重松 清 著

講談社

弱小球団・広島カープの帽子が赤に変わった 1975 年。原爆の傷痕が残る広島に転校してきたマナブは野球少年ヤスと新聞記者志望のユキオに出会い街に少しずつ馴染んでいく。カープは初優勝に向け真っ赤な奇跡を起こし....。

朝日新聞 2016/09/25

2016:8./ 631p

978-4-06-293479-4

本体 ¥880+税



東京の横丁(講談社文芸文庫 な D8)

永井 龍男 著

講談社

没後発見された手入れ稿に綴られた、生まれ育った神田、終の住処鎌倉、設立まもなく参加した文藝春秋社の日々。詩情と美学に貫かれた名随筆に、死を見据えた短篇「冬の梢」を併録した、永井龍男最後の名品集。

朝日新聞 2016/09/25

2016:9./ 310p

978-4-06-290322-6

本体 ¥1,600+税



GIVER～復讐の贈与者～(角川文庫 ひ 27-1)

日野 草 著

KADOKAWA

過去に負い目を抱えた人々に巧みに迫る正体不明の復讐代行業者。彼らはある「最終目的」を胸に、思いもよらない方法でその人の「一番の弱み」を利用し、追い詰めていく....。新感覚リベンジ・ミステリ。

朝日新聞 2016/09/25

2016:8./ 301p

978-4-04-104631-9

本体 ¥760+税



高い窓(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM7-15)

レイモンド・チャンドラー 著

早川書房

探偵マーロウは頑迷な老女から義理の娘を探してほしいと依頼される。だが彼の行く手には脅迫と、そして死体が.....。待望の新訳版

朝日新聞 2016/09/25

2016:9./ 415p

978-4-15-070465-0

本体 ¥1,000+税





クラフツマン～作ることは考えることである～

リチャード・セネット、高橋 勇夫 著

筑摩書房

ローマ帝国の煉瓦職人からストラディヴァリの製作現場まで、近代が忘却したクラフツマンシップの由来をたずね、その意味を問い直す。

2016:7./ 544p,19p

978-4-480-86445-1

本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2016/09/25、読売新聞 2016/09/25



70歳の日記

メイ・サートン、幾島 幸子 著

みすず書房

残された時間は多くない。故郷ベルギーから切り離された孤立感も深い。しかし「今の私は、生涯でいちばん自分らしい」。詩人で小説家のサートンが、出会いと喪失、発見にみちた濃密な1年を、率直につづった日記。

2016:7./ 410p

978-4-622-07862-3

本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2016/09/25、毎日新聞 2016/09/25



詩のトボス～人と場所をむすぶ漢詩の力～

齋藤 希史 著

平凡社

洛陽、長安、江戸...詠まれたトボスから光を当てると李白や杜甫らの詩はいかに深く、広く読めるか?詩鑑賞の刺激に満ちた新世界。

2016:5./ 286p

978-4-582-83727-8

本体 ¥2,600+税



東京・中日新聞 2016/09/04



彼方への忘れもの

小嵐 九八郎 著

アーツアンドクラフツ

「青春が美しい」、なんてのは?ら!乳児期に被爆体験を持つノンポリ青年が体験する早大闘争、ヤクザ映画、就職失敗、そして恋愛。東京オリンピック後の世情や60年代後半の学生たちを描いた書き下ろし長編小説。

2016:5./ 388p

978-4-908028-13-7

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2016/09/04



人びとの戦後経済秘史

東京新聞・中日新聞経済部 編

岩波書店

激動の時代の人びとは何を感じ、どう生きたのか。戦後史を生きてきた人びとの証言を丹念に収集し、歴史に埋もれたドラマを発掘。戦後の経済史と同時に民衆の生活史も俯瞰できる書。『東京新聞』『中日新聞』連載を基に書籍化。

2016:8./ 10p,212p

978-4-00-024527-2

本体 ¥1,900+税



東京・中日新聞 2016/09/04



「考古学エレジー」の唄が聞こえる～発掘にかけた青春哀歌～

澤宮 優 著

東海大学出版部

昭和のある時代、全国各地の考古学の調査・発掘現場で歌われた「考古学エレジー」。唄の誕生から、考古学を志す者のテーマソングとなり、平成の到来とともに消えていくまでを検証する。『西日本新聞』連載に加筆して単行本化。

2016:7./ 317p

978-4-486-03799-6

本体 ¥2,300+税



東京・中日新聞 2016/09/04、日本経済新聞 2016/09/04



人口と日本経済～長寿、イノベーション、経済成長～(中公新書 2388)

吉川 洋 著

中央公論新社

人口減少が進む日本。財政赤字は拡大の一途をたどっているが、「日本の衰退は不可避」との思い込みに対し、経済学は「否」と答える。日本に蔓延する「人口減少ペシミズム(悲観論)」を排し、日本経済の本当の課題に迫る。

2016:8./ 3p,198p

978-4-12-102388-9

本体 ¥760+税



東京・中日新聞 2016/09/04、毎日新聞 2016/09/11、日本経済新聞 2016/09/18



素手のふるまい～アートがさぐる<未知の社会性>～

鷺田 清一 著

朝日新聞出版

被災地支援にとりくむ藝大生、東北の地域社会に入って制作する写真家…。現代社会の隙間で、生存の技法としてのアートと錯綜する社会との関係を読みほぐく、臨床哲学者の刺激的な考察。『小説トリッパー』連載に加筆・再構成。

2016:7./ 253p

978-4-02-251392-2

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2016/09/11



漂うまに島に着き

内澤 句子 著

朝日新聞出版

乳がん治療の果てに離婚し、香川県の小豆島に移住を決めた著者。引っ越しを終えてからの折々の心境の変化をつづった地方移住?末記。折り込み地図付き。『一冊の本』掲載「流れるまに島に着き」を改題し加筆修正して書籍化。

2016:8./ 266p

978-4-02-251403-5

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2016/09/11



文字を作る仕事

島海 修 著

晶文社

本や新聞、PC、モバイルなどで毎日目にする文字は、読みやすさや美しさを追求するデザイナーの手によって生み出されている。書体設計の第一人者が、文字に込めた思想、理想の文字、これからの文字作りにつなぐ思いをつづる。

2016:7./ 235p

978-4-7949-6928-6

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2016/09/11、朝日新聞 2016/09/11



狩りの時代

津島 佑子 著

文藝春秋

逝去直前まで推敲を重ねた津島文学の到達点 顔も知らぬ父、15歳で早世した兄。絵美子と母を気遣う、大勢のおじ・おばたち。大家族の物語はこの国の未来を照射する。遺作長篇。

2016:8./ 285p

978-4-16-390501-3

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2016/09/11、読売新聞 2016/09/11、朝日新聞 2016/09/18



デモクラシーは、仁義である(角川新書 K-95)

岡田 憲治 著

KADOKAWA

「決定に時間がかかりすぎる」「結局は多数決」「世界は不平等、平等なんて絵空事だ」そんな、出来の悪い制度=民主主義に対する批判に答え、それに絶望しない“大人の付き合い方”を示す。

2016:8./ 241p

978-4-04-082089-7

本体 ¥800+税



東京・中日新聞 2016/09/11、毎日新聞 2016/09/18



上方漫才黄金時代

戸田 学 著

岩波書店

大空襲で焦土と化した大阪で、いち早く上方漫才師たちは活動を再開、やがて上方漫才黄金時代を迎える。人気を博した漫才芸を活字によって再現し、近代漫才の父・秋田實の足跡も交えて、戦後昭和の上方漫才通史を綴る。

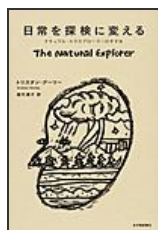
2016:6./ 11p,258p

978-4-00-061130-5

本体 ¥2,600+税



東京・中日新聞 2016/09/18



日常を探検に変える〜ナチュラリ・エクスプローラーのすすめ〜

トリスタン・グーリー、屋代 通子 著

紀伊國屋書店出版部

古の探検家たちは道を行く途上で何に注意を払っていたのか、その視点の先をたどりつつ、身近な自然のなかで意識を開く技法を説く。

2016:6./ 427p

978-4-314-01138-9

本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2016/09/18



地方創生の罫(イースト新書 071)

山田 順 著

イースト・プレス

中央発想の経済成長神話に左右されることなく、むしろダウンサイズしていくことが地方の真の幸福に結びつく。21世紀型のデジタルエコノミー、シェアエコノミーに立脚した「新しい地方」をつくっていくべきだと訴える書。

2016:8./ 269p

978-4-7816-5071-5

本体 ¥907+税



東京・中日新聞 2016/09/18



?せ姫〜生きづらさの果てに〜

エフ=宝泉薫 著

ベストセラーズ

なぜそこまで?せたいのか?細さにこだわる本当の理由とは?摂食障害にまでなってしまった女性たちの「生きづらさの正体」と「その生の肯定」を描く現代の奇書。

2016:9./ 269p

978-4-584-13740-6

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2016/09/18



伊勢と出雲〜韓神と鉄〜(平凡社新書 821)

岡谷 公二 著

平凡社

日本原初の記憶が刻まれた地でありながら、それぞれ別物とされてきた伊勢と出雲を、古代朝鮮の文化と鉄をキーワードにつなぎ直す。

2016:8./ 207p

978-4-582-85821-1

本体 ¥780+税



東京・中日新聞 2016/09/18、朝日新聞 2016/09/18



季節の民俗誌

野本 寛一 著

玉川大学出版部

「雪国」に重きをおき、これまであまり日のあたらなかった年中行事や、年中行事の体系のなかに入りにくかった季節にかかわる人びとのいとなみに光をあてる。「自然暦」についても紹介。

2016:7./ 465p

978-4-472-30308-1

本体 ¥4,800+税



東京・中日新聞 2016/09/25



月兎耳の家

稲葉 真弓 著

河出書房新社

著者の三回忌に際し、死の直前に発表された最後の遺作を単行本化!老女優の、人生の幕引きの日々を描いた表題作は、感動の一篇。

東京・中日新聞 2016/09/25

2016:8./ 155p

978-4-309-02496-7

本体 ¥1,600+税



ビッグデータと人工知能～可能性と畏を見極める～(中公新書 2384)

西垣 通 著

中央公論新社

人工知能が人間を超える!? 基礎情報学にもとづいて、ビッグデータや人工知能の現在の動向と論点を明快に整理し分析。技術万能主義に警鐘を鳴らし、知識増幅と集合知を駆使することにより拓かれる未来の可能性を提示する。

東京・中日新聞 2016/09/25

2016:7./ 3p,219p

978-4-12-102384-1

本体 ¥780+税



心とはなにか～仏教の探究に学ぶ～

竹村 牧男 著

春秋社

仏教の歴史は心の探究史。原始仏教・アビダルマの意識から唯識の無意識、大乘の如来蔵、そして日本人特有の心のあり方へと、私たちの心の豊かさを説き明かす。心を見失いがちな今の時代だからこそ、最初に学んでおきたい本当の心とはなにか。

東京・中日新聞 2016/09/25

2016:8./ 5p,191p

978-4-393-13589-1

本体 ¥1,900+税



学力・心理・家庭環境の経済分析～全国小中学生の追跡調査から見てきたもの～

赤林 英夫、直井 道生、敷島 千鶴 著

有斐閣

いま、所得格差の拡大や子どもの貧困、教育機会の不平等を通じた世代間の格差の固定化への懸念が広がっている。子どもの「学び」や「こころ」に影響を与えているものは何か?追跡調査から得た豊富なデータを駆使して、その実態解明に挑む。

読売新聞 2016/09/04

2016:6./ 12p,261p

978-4-641-16473-4

本体 ¥3,100+税



昭和天皇とスポーツ～<玉体>の近代史～(歴史文化ライブラリー 425)

坂上 康博 著

吉川弘文館

皇居にはかつてゴルフ場やプールが存在し、スポーツに親しむ昭和天皇の姿が報じられた。幼少時代の遊び、多彩なスポーツ経験、戦時下の健康維持などを、豊富なエピソードを交えて辿り、天皇の身体=玉体の形成に迫る。

読売新聞 2016/09/04

2016:5./ 8p,266p

978-4-642-05825-4

本体 ¥1,800+税





会いたかった画家

安野 光雅 著

山川出版社

クレー、モディリアーニ、ゴッホ、ルソー、張挾端、花森安治…。画家である著者が、心に焼き付いた 22 人の画家についての思いやエピソードを語る。絵をみると、描くこと、絵が好きな全ての人へ贈る一冊。

2016:5./ 236p

978-4-634-15093-5

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/09/04



冬の王〜ヘンリー七世と黎明のテューダー王朝〜

トマス・ペン、陶山 昇平 著

彩流社

イギリス薔薇戦争を制し、相争った 2 つの家を和解させたヘンリー七世。国内にもたらされた安定の影で、人々を震撼させたその手法とは…。謎めいたテューダー王朝創始者と、権謀術数渦巻く時代を詳らかにする。

2016:7./ 477p

978-4-7791-2244-6

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2016/09/04



レモンケーキの独特なさびしさ

エイミー・ベンダー 著

KADOKAWA

食べるとそれを作った人の感情がわかる少女と、神童のような変わり者の兄。やがて明かされる、世界が揺らぐような家族の秘密とは？ 生のひりつくような痛みと美しさを描く、愛と喪失と希望の物語。

2016:5./ 351p

978-4-04-110485-9

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2016/09/04



英語という選択〜アイルランドの今〜

嶋田 珠巳 著

岩波書店

アイルランドでは、日常的に話す言語が民族のことばから英語に替わってしまった。アイルランドにおける言語交替はどのように進み、どんなことばを生んだのか。そして、人々はことばに対してどんな思いを抱いているのかを探る。

2016:6./ 8p,204p,10p

978-4-00-022298-3

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2016/09/04



一柳慧 現代音楽を超えて

一柳 慧 著

平凡社

日本にアメリカの前衛音楽を紹介し、現在でも旺盛な創作活動により世界の音楽界に影響を与え続ける伝説的巨匠・一柳慧の集大成。

2016:8./ 249p

978-4-582-83735-3

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2016/09/04



21世紀を創る〜大平正芳の政治的遺産を継いで〜

渡邊 昭夫 著

PHP研究所

米・中・アジア太平洋の未来を読み、日本の行き方を、国際政治・外交の第一線研究者たちが真剣な討論を繰り広げる。

2016:6./ 425p

978-4-569-83131-2

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2016/09/04



ラグビーをひもとく～反則でも笛を吹かない理由～(集英社新書 0843)

李 淳? 著

集英社

公認レフリーの資格を持つ著者が、ラグビーの歴史とゲームの仕組を丁寧にひもとき、競技の奥深さとワンランク上の観戦眼を提示する。入門書でありつつディープな、画期的ラグビー教本!

2016:7./ 253p

978-4-08-720843-6

本体 ¥760+税



読売新聞 2016/09/04



ゴジラとエヴァンゲリオン(新潮新書 677)

長山 靖生 著

新潮社

誕生の秘密や鬼才たちの企みが、いま明らかに! ゴジラは、なぜ皇居を迂回したのか? エヴァは何度世界を破滅させるのか? 作品への深い愛情と膨大な資料から、「日本SF大賞」受賞者によりスリリングに展開される最高の謎解き。

2016:7./ 207p

978-4-10-610677-4

本体 ¥720+税



読売新聞 2016/09/04



掠奪されたメソポタミア

ローレンス・ロスフィールド、山内 和也 著

NHK出版

2003年4月、掠奪者の一群がイラク国立博物館を襲い、約1万5000点の文化遺産が奪われた。何が起きたのか。なぜ防げなかったのか。戦争の「陰」を解き明かし、文化遺産保護の「未来」への教訓を焙り出す。

2016:6./ 347p

978-4-14-009359-7

本体 ¥4,000+税



読売新聞 2016/09/04



KOKUFUBOOK～國府理作品集～

國府 理 著

青幻舎

独自の設計思想で「未来」を切り開いた國府理の、初期作から集大成「相对温室」までを収めた作品集。代表作約100点に、彼自身による「言葉」を添えて掲載。國府理の世界を一望することができる。

2016:6./ 166p

978-4-86152-556-8

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2016/09/04



息子ってヤツは

室井 佑月 著

毎日新聞出版

「あんた勉強が好きだから」という言葉を、くり返し使うのがミソである。室井佑月が、母子二人三脚で挑んだ受験を描く抱腹絶倒の子育てエッセイ。フリーマガジン『5L』連載に書き下ろしや漫画を加えて単行本化。

2016:6./ 235p

978-4-620-32389-3

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2016/09/04



なぜ「小三治」の落語は面白いのか?(講談社+α 文庫 D82-1)

広瀬 和生 著

講談社

日本が誇る落語界の名人、柳家小三治。貴重なロングインタビュー、主要90演目を聴き比べたマニアックな考察、おすすめ音源と映像紹介で、小三治が「名人」である理由を鮮やかに解き明かす。

2016:7./ 350p

978-4-06-281680-9

本体 ¥900+税



読売新聞 2016/09/04



学術書の編集者

橘 宗吾 著

慶應義塾大学出版会

名古屋大学出版会の編集長として学術書出版の編集に携わる中で著者が出くわした問題についてまとめたもの。学術書や編集一般から、企画・審査・助成、出版活動と「地方」との関わり方などについて実践的に語る。

2016:7./ 6p,198p,7p

978-4-7664-2352-5

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/09/04



随行記～天皇皇后両陛下にお供して～

川島 裕 著

文藝春秋

各国への友好の旅、先の戦争の地への慰霊の旅、そして被災地への旅。12 年間にわたりお側に仕えた前侍従長が克明に記録した、天皇皇后両陛下の旅の記憶。『文藝春秋』掲載に書き下ろしを追加して単行本化。

2016:8./ 261p 図版 6

枚

978-4-16-390503-7

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2016/09/04



まつりのあと(光文社文庫 は 34-3)

花房 観音 著

光文社

恋や情念が盛り上がった後に漂うそこはかたない寂寞感。平安神宮での結婚式に集う人々が織りなす、欲望の向こう側にある 6 つの人間模様と狂おしい官能を描いた連作短編集。

2016:8./ 268p

978-4-334-77331-1

本体 ¥560+税



読売新聞 2016/09/04



ふるさとと再生カギは四国にあり

読売新聞大阪本社「ふるさとあしたへ」取材班 著

中央公論新社

四国は、人口減と高齢化が全国平均より 10 年以上早く進んでいる。顕在化した過疎と闘う四国の人々の取り組みを通し、地域再生の道筋を考える。『読売新聞』連載「ふるさと あしたへ」を書籍化。

2016:8./ 266p

978-4-12-004879-1

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/09/04



猫と漱石と悪妻(中公文庫 う 29-4)

植松 三十里 著

中央公論新社

見合い相手として現れた夏目金之助(漱石)に一目惚れした鏡子。しかし、結婚生活は苦難の連続で...!波瀾と笑いの数々を経て、深く結ばれた夫婦の絆を描く、文豪一家グラフィティ。

2016:8./ 251p

978-4-12-206278-8

本体 ¥580+税



読売新聞 2016/09/04



一人暮らしをたのしんで生きる(中公文庫 よ 57-1)

吉沢 久子 著

中央公論新社

日々をゆったり、花や木や虫たちと仲良く暮らすこと。社会の動きにも目をくばり、自分に対しては無理せず、甘やかさず、上手に付き合う。歳を重ねてこそ得られる豊かな人生の為の知恵と工夫。「一人の老後」のお手本が満載。

2016:7./ 214p

978-4-12-206269-6

本体 ¥620+税



読売新聞 2016/09/04、日本経済新聞 2016/09/04



「その日暮らし」の人類学～もう一つの資本主義経済～(光文社新書 829)

小川 さやか 著

光文社

「貧しさ」がないアマゾンの先住民、気軽に仕事を転々とするアフリカ都市民、海賊行為が切り開く新しい経済・社会…。気鋭の文化人類学者が、「その日暮らし」という生き方を明らかにする。『小説宝石』連載を加筆・修正。

2016:7./ 222p

978-4-334-03932-5

本体 ¥740+税



読売新聞 2016/09/04、日本経済新聞 2016/09/04、朝日新聞 2016/09/18



銀河鉄道の夜(岩波少年文庫)

宮沢 賢治 著

岩波書店

夜の軽便鉄道に乗って天空を旅する少年ジョバンニの心の動きを描いた表題作ほか「やまなし」「貝の火」「なめとこ山のくま」「オッペルとぞう」「カイロ団長」「雁の童子」の7編。幻想性に富んだ童話集。

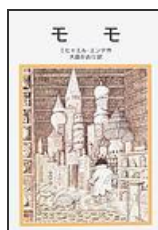
2000:12./ 233p

978-4-00-114012-5

本体 ¥680+税



読売新聞 2016/09/11



モモ(岩波少年文庫)

ミヒヤエル・エンデ、大島 かおり 著

岩波書店

町はずれの円形劇場あとにまよいこんだ不思議な少女モモ。町の人たちはモモに話をさいてもらおうと、幸福な気持ちになるのです。そこへ「時間どろぼう」の男たちの魔の手が忍び寄り…。再刊。

2005:6./ 409p

978-4-00-114127-6

本体 ¥800+税



読売新聞 2016/09/11



タオ(ちくま文庫)

老子、加島 祥造 著

筑摩書房

読売新聞 2016/09/11

2006:10./ 284p

978-4-480-42267-5

本体 ¥640+税



次郎物語<下>(講談社青い鳥文庫)

下村 湖人、吉田 純 著

講談社

読売新聞 2016/09/11

1989:6./ 347p

978-4-06-147268-6

本体 ¥720+税



次郎物語<上>(講談社青い鳥文庫)

下村 湖人、吉田 純 著

講談社

読売新聞 2016/09/11

1989:6./ 389p

978-4-06-147267-9

本体 ¥760+税





たんぽぽのお酒

レイ・ブラッドベリ、北山 克彦 著

晶文社

輝く夏の陽ざしの中、12歳の少年ダグラスはそよ風につけて走る。その多感な心に刻まれる数々の不思議な事件と黄金の夢…。「イメージの魔術師」ブラッドベリがおくる少年ファンタジーの永遠の名作。

1997:8./ 405p

978-4-7949-1241-1

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/09/11



アジア主義と近代日中の思想的交錯

嵯峨 隆 著

慶應義塾大学出版会

日本と中国の間で交錯し、最終的に日本の敗戦という形でその役割を終えた思想、「アジア主義」。ついには連帯の理念として結実することがなかったこの思想の相互作用を比較思想の視座から再検討し、現代への示唆を提示する。

2016:6./ 6p,370p

978-4-7664-2348-8

本体 ¥5,000+税



読売新聞 2016/09/11



再考 ふなずしの歴史

橋本 道範 著

サンライズ出版

弥生時代の日本における最古のナレズシを、現代にまで継承しているのがふなずしであるという従来の説は本当か。歴史文献を精査し、現地調査をおこなった研究者たちが、ふなずしの歴史に関する最先端の研究成果をまとめる。

2016:6./ 333p

978-4-88325-594-8

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2016/09/11



ケルズの本〜アイルランドの至宝〜

萩原 美佐枝 著

求龍堂

8世紀に制作された聖書の手写本「ケルズの本」。その中の美しい色彩が施された装飾ページについて、15年間にわたり、著者が復元模写を試みた記録。細密な構造を解明しながら、制作当時の色彩や図像の謎に迫る。

2016:6./ 157p

978-4-7630-1608-9

本体 ¥6,000+税



読売新聞 2016/09/11



見えざる手をこえて〜新しい経済学のために〜(叢書《制度を考える》)

カウシック・バスター、栗林 寛幸 著

NTT出版

市場の「見えざる手」に委ねることでは解決されないさまざまな経済的・社会的・政治的問題に光を当てて、経済学の功と罪を解きあかしながら、貧困と不平等のない世界を構想する。

2016:7./ 5p,299p,58p

978-4-7571-2306-9

本体 ¥3,700+税



読売新聞 2016/09/11



勝ち過ぎた監督〜駒大苦小牧幻の三連覇〜

中村 計 著

集英社

北海道勢初の甲子園制覇、田中将大らの輩出、前人未到の三連覇へ王手……。短期間に数多の偉業を成し遂げた駒大苦小牧元監督・香田誉士史。栄光と挫折の舞台裏を、長期に亘る丹念な取材で解き明かす。

2016:8./ 427p

978-4-08-789006-8

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2016/09/11



国のために死ぬるか〜自衛隊「特殊部隊」創設者の思想と行動〜(文春新書 1069)

伊藤 祐靖 著
文藝春秋

新安保法制が施行され、「自衛隊員の戦死」が現実味を帯びてきた。今の日本という国家に「死ぬ」と命じる資格はあるのか? 海上自衛隊特殊部隊の創設者が、自身の経験をもとに「国のために死ぬ」ことを突き詰めて考える。

2016:7./ 255p
978-4-16-661069-3
本体 ¥780+税



読売新聞 2016/09/11



禅と食〜「生きる」を整える〜(小学館文庫 ま 6-1)

枅野 俊明 著
小学館

食事をつくること、食べること、そのすべてが「修行」であり、「生きること」そのものなのです。毎日が輝きはじめる、禅的食のこころと、贅沢な粗食のすすめ。自宅でできる精進料理レシピなども収録。

2016:8./ 198p
978-4-09-406326-4
本体 ¥580+税



読売新聞 2016/09/11



石原吉郎セレクション(岩波現代文庫)

石原 吉郎、柴崎 聰 編
石原 吉郎 著
岩波書店

シベリヤ抑留における極限下の体験を自己への凝視に向け、告発と断念、絶望と祈り、沈黙と発語の拮抗する内面を、硬質で静謐な言葉で表現する文学者、石原吉郎。散文を精選し、その文業の核心と可能性に迫る。

2016:8./ 6p,274p
978-4-00-602280-8
本体 ¥1,100+税



読売新聞 2016/09/11



タングステンおじさん〜化学と過ごした私の少年時代〜(ハヤカワ文庫 NF 472)

オリヴァー・サックス 著
早川書房

のちに脳神経科医になるサックス先生は子供のころ、化学に夢中だった。物質の化学的な振舞いの面白さを語ってやまないおじ「タングステンおじさん」がいたからだ…。科学への憧れを育んだ日々を綴る。

2016:7./ 464p
978-4-15-050472-4
本体 ¥1,240+税



読売新聞 2016/09/11



みかづき

森 絵都 著
集英社

昭和 36 年、学校教育に不信を抱く千明から学習塾の立ち上げに誘われ、吾郎の波瀾の教育者人生が幕を開ける。昭和〜平成の塾業界を舞台に、三世代にわたり奮闘する大島家を描いた、著者渾身の大作長編!

2016:9./ 467p
978-4-08-771005-2
本体 ¥1,850+税



読売新聞 2016/09/11



沿線格差〜首都圏鉄道路線の知られざる通信簿〜(SB 新書 354)

首都圏鉄道路線研究会 著
SBクリエイティブ

ブランドタウン充実路線から、酒盛り列車と呼ばれる路線まで、首都圏の各沿線の個性を徹底分析。主要路線の通信簿、テーマ別沿線ランキング、沿線イメージのウソと真実、同一沿線内の駅力格差などをくわしく解説する。

2016:8./ 237p
978-4-7973-8865-7
本体 ¥820+税



読売新聞 2016/09/11



ビル・クリントン～停滞するアメリカをいかに建て直したか～(中公新書 2383)

西川 賢 著

中央公論新社

46歳の若さで、戦後生まれ初の米国大統領に就任したビル・クリントン。次々とカネとセックスのスキャンダルにまみれ、弾劾裁判を受けながらも、多くの実績を残し、今なお絶大な人気を誇る彼の半生を追う。

2016:7./ 6p,262p

978-4-12-102383-4

本体 ¥840+税



読売新聞 2016/09/11



少年聖女

鹿島田 真希 著

河出書房新社

ゲイバー「Aqua」で、僕が愛した青年が語る、ひとりの聖女と彼女に溺れゆく男たちの物語——「背徳的な愛」を峻烈に描く衝撃作！

2016:8./ 242p

978-4-309-02500-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/09/11



はにわ

まりこふん 著

青月社

はにわって、かわいくて、美しくて、面白い！知っているようで意外に知らない「はにわ」の魅力が詰まったビジュアル満載の一冊です！

2016:9./ 142p

978-4-8109-1307-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/09/11



隣の隣は隣～神戸わが街～

安水 稔和 著

編集工房ノア

阪神・淡路大震災から 21 年。神戸大空襲から 71 年。たくさんのいのちの記憶。隣と?がること隣の隣と?がる。語り継ぐ、詩人の記録と記憶の収納庫-。震災にかかわる詩と散文、講演とインタビューを集成。

2016:8./ 671p

978-4-89271-256-2

本体 ¥6,000+税



読売新聞 2016/09/11



士魂～福澤諭吉の真実～

渡辺 利夫 著

海竜社

西郷隆盛に寄せる愛慕、勝海舟・榎本武揚の出处進退への侮蔑、最高のモラルとしてのナショナリズム、朝鮮開化派・金玉均への支援…。理性と情念の人・福澤諭吉の真実の思想像に迫る。

2016:7./ 319p

978-4-7593-1406-9

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/09/11、産経新聞 2016/09/18



テロ

フェルディナント・フォン・シーラッハ 著

東京創元社

テロリストにハイジャックされた旅客機を撃墜し、164 人の命を奪い 7 万人を救った空軍大佐。彼は英雄か?殺人者か?有罪と無罪、ふたつの結末が用意された衝撃の法廷劇。

2016:7./ 158p

978-4-488-01056-0

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/09/11、朝日新聞 2016/09/18、産経新聞 2016/09/25



私、プロレスの味方です～金曜午後八時の論理～(角川文庫)

村松友視 著
角川グループパブリッシング
読売新聞 2016/09/18

1981:11./ 260p
978-4-04-150201-3
本体 ¥300+税

* 9 7 8 4 0 4 1 5 0 2 0 1 3 *



昆虫はすごい(光文社新書 710)

丸山 宗利 著
光文社
恋愛、戦争、奴隷、共生…。虫はなんでもやっている!人間たちの思考を覆す、小さな生物のあつぱれな生き方を紹介し、地球上で最も多種多様な昆虫の生態に迫る。写真も多数収録。

2014:8./ 238p
978-4-334-03813-7
本体 ¥780+税

* 9 7 8 4 3 3 4 0 3 8 1 3 7 *

読売新聞 2016/09/18



擬制の論理自由の不安～近代日本政治思想論～

松田 宏一郎 著
慶應義塾大学出版会
福澤諭吉から丸山眞男にいたる思想家たちが「擬制 fiction」の論理によって構成した、さまざまな「自由な主体」。それらの理論的強度を精緻に検討し、近代日本における政治的言説の存立条件を明らかにする。

2016:6./ 6p,322p,26p
978-4-7664-2353-2
本体 ¥5,800+税

* 9 7 8 4 7 6 6 4 2 3 5 3 2 *

読売新聞 2016/09/18



感情の医師～「平静の心」がゆれるとき～

ダニエル・オーフリ、堀内 志奈 著
医学書院
周囲からの圧倒的なプレッシャー、毎日のように訪れる悲嘆、逃げ出したくなるような恥、患者の命を救えた時の喜び…。こんなにも「感情」をゆさぶられる職業が他にあるだろうか。医師の内面とその影響を探るルポルタージュ。

2016:5./ 369p,5p
978-4-260-02503-4
本体 ¥3,200+税

* 9 7 8 4 2 6 0 0 2 5 0 3 4 *

読売新聞 2016/09/18



リオデジャネイロに降る雪～祭りと郷愁をめぐる断想～

福嶋 伸洋 著
岩波書店
リオデジャネイロの街をめぐってつづったエッセイ。ル・コルビュジエが「忘れがたい魔法」と呼んだ、このモダン都市の魅力を、ブラジル文学と音楽の研究者である著者が、記録と記憶のかいけらを紡ぎ、生起させる。

2016:7./ 11p,137p,8p
978-4-00-025573-8
本体 ¥1,800+税

* 9 7 8 4 0 0 0 2 5 5 7 3 8 *

読売新聞 2016/09/18



折々の民俗学

常光 徹 著
河出書房新社
山村・海村の話だけでなく、街場の日々の話題も丁寧に採集した、四季折々の暮らしの民俗学。「高知新聞」好評連載完結。

2016:7./ 208p
978-4-309-22674-3
本体 ¥1,500+税

* 9 7 8 4 3 0 9 2 2 6 7 4 3 *

読売新聞 2016/09/18



挽歌の宛先～祈りと震災～

河北新報社集局 編

公人の友社

東日本大震災の被災地にはさまざまな宛先の挽歌がこだまする。復興が遅々として進まないなかで、死者への思いがますますつのっている。被災地で信仰の意味を問い直す人々を描く。『河北新報』連載を書籍化。

2016:6./ 227p

978-4-87555-684-8

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2016/09/18



外来種は本当に悪者か?～新しい野生 THE NEW WILD～

フレッド・ピアス 著

草思社

想像の産物である「手つかずの自然」を守るより、外来種の活力と「侵略本能」を活かして自然の再生をめざすべき! 著名科学ジャーナリストによる、外来種のイメージを根底から覆す知的興奮にみちた科学ノンフィクション。

2016:7./ 320p,15p

978-4-7942-2212-1

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/09/18



「超」入門! 論理トレーニング(ちくま新書 1200)

横山 雅彦 著

筑摩書房

「伝えたいことを相手にうまく伝えられない」のはなぜか? 日本語をロジカルに運用し、論理思考をコミュニケーションとして使いこなすためのコツを伝授!

2016:8./ 254p

978-4-480-06905-4

本体 ¥860+税



読売新聞 2016/09/18



小澤征爾

小澤 征爾 著

新潮社

その指先が、視線が、息づかいが紡ぎ出す至上の音楽。世界を魅了しながら、さらなる高みを求めて奏で続ける終わりのなき旅の道程…。傘寿を迎えた世界のマエストロ・小澤征爾、円熟の30年間の軌跡を辿る記念碑的写真集。

2016:8./ 167p

978-4-10-350211-1

本体 ¥6,400+税



読売新聞 2016/09/18



丸刈りにされた女たち～「ドイツ兵の恋人」の戦後を辿る旅～(岩波現代全書 093)

藤森 晶子 著

岩波書店

第二次大戦中に「支配者」であるドイツ兵と愛し合い、解放後に見せしめとして丸刈りにされたフランス人女性たち。彼女たちをたずねて 2004 年にフランスに渡った著者が、その困難に満ちた戦後の人生を綴った記録。

2016:8./ 12p,190p

978-4-00-029193-4

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2016/09/18



飛行士たちの話 新訳版(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 22-13)

ロアルド・ダール 著

早川書房

イギリス空軍のパイロットが遭遇する悪夢のような現実。デビュー作を含む 10 篇を収録。

2016:8./ 300p

978-4-15-071263-1

本体 ¥900+税



読売新聞 2016/09/18



海外ドラマの間取りとインテリア

小野 まどか、イエマガ編集部、ヤマサキ タツヤ 著
エクスナレッジ

「アグリー・ベティ」「セックス・アンド・ザ・シティ」…。人気海外ドラマの主人公が暮らす部屋の間取りやインテリアを、3D 図面やイラストとともに、会話形式で楽しく紹介。Web マガジン『イエマガ』連載を加筆・再編集。

2016:8./ 219p
978-4-7678-2201-3
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2016/09/18



狐武者〜傑作奇譚集〜(光文社文庫 お 6-30)

岡本 綺堂 著
光文社

ミステリーや時代小説の礎となった巨匠・岡本綺堂の傑作集。超自然の力を持つ狐に守護された若き武士が、激動の乱世を生き抜いていく不思議な物語「狐武者」をはじめ、摩訶不思議な歴史読物や探偵譚全 7 編を文庫初収録。

2016:8./ 329p
978-4-334-77342-7
本体 ¥680+税



読売新聞 2016/09/18



ヒト〜異端のサル〜(中公新書 2390)

島 泰三 著
中央公論新社

華奢な骨格と裸の皮膚、巨大脳をもつ、異端なサル=現代人は、いつ、どこで生まれたのか。そして日本人の祖先はどこからやってきて、どこに行こうとしているのか。サルから日本人へのはるかな足跡を追う。

2016:8./ 2p,290p
978-4-12-102390-2
本体 ¥920+税



読売新聞 2016/09/18



志の輔の背丈

立川 志の輔 著
毎日新聞出版

まぐらは限定のツイッター、落語と社葬を結びつける人、師匠談志の斬新なお歳暮術…。1996?2014 年に『毎日新聞』東京版で連載したコラム「ピーピングしの子けのふしあなから世間」の中から抜粋したベスト本。

2016:8./ 237p
978-4-620-32324-4
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/09/18



あまみの甘みあまみの香り〜じらとくっかるの島めぐり〜

鯨本 あつこ、石原 みどり、鯨本 あつこ 著
西日本出版社

離島経済新聞社の名物編集長と島酒担当記者が綴る、奄美群島 5 島と奄美の島酒をめぐるイラスト満載のほろ酔い旅エッセイ。奄美黒糖焼酎の作り方、歴史はもちろん、マメ知識、全蔵の情報も収録する。

2016:9./ 293p
978-4-908443-02-2
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2016/09/18



うふふな日々(PHP 文芸文庫 あ 1-4)

あさの あつこ 著
PHP研究所

自然豊かな岡場で暮らす人気作家。平々凡々な毎日かと思いきや……。妄想一杯な日々のあれこれをユーモアたっぷりに綴ったエッセイ集。

2016:9./ 263p
978-4-569-76609-6
本体 ¥640+税



読売新聞 2016/09/18



きみに働ける喜びを～知的障害者通所就労支援施設・虹の家園長桐生清次の歩～(みやざき文庫)

川野楠己 著

鉦脈社

読売新聞 2016/09/18

2016:7./ 263p

978-4-86061-631-1

本体 ¥1,600+税



舟を編む(光文社文庫 み 24-2)

三浦 しをん 著

光文社

辞書編集部に異動した馬締は「大渡海」の編纂を始める。個性的すぎる仲間たち、問題山積みの編集部、ままならぬ恋…。愛すべき変人たちが恋に仕事に右往左往。「大渡海」は編み上がるのか?「馬締の恋文」も全文収録。

2015:3./ 347p

978-4-334-76880-5

本体 ¥620+税



読売新聞 2016/09/25



ニュートリノ～もっとも身近で、もっとも謎の物質～(イースト新書 Q Q017)

多田 将 著

イースト・プレス

素粒子のなかでもっとも捕らえにくいニュートリノ。謎に満ちたその正体にいま、人類が築き上げた科学と日本の圧倒的なテクノロジーが融合した「すごい実験」が迫りつつある。知の現場から、その面白さをわかりやすく解説する。

2016:7./ 189p

978-4-7816-8016-3

本体 ¥760+税



読売新聞 2016/09/25



宮澤喜一と竹下登～戦後保守の栄光と挫折～(ちくま文庫 み 32-2)

御厨 貴 著

筑摩書房

対極的な保守政治家だった宮澤と竹下。その政権運営が自民党崩壊への端緒となった二人の栄光と挫折を描く、オール・ノンフィクション対比列伝。

2016:7./ 280p

978-4-480-43376-3

本体 ¥900+税



読売新聞 2016/09/25



検証天皇陵

外池 昇 著

山川出版社

歴代の全 123 天皇陵を網羅・解説した初めての書籍。陵墓の歴史、「治定」の真偽を航空写真・古写真・絵画資料でやさしく解説。

2016:7./ 377p

978-4-634-15102-4

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2016/09/25



シナリオ構造論

野田 高梧 著

フィルムアート社

半世紀を経て待望の名著復刊。「構造」から映画を考える、シナリオ創作の代表的入門書!

2016:7./ 374p

978-4-8459-1613-9

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2016/09/25



永六輔の伝言～僕が愛した「芸と反骨」～(集英社新書 0845)

矢崎 泰久 編

永 六輔 著

集英社

これまで多くの表現者たちと出会い、見送った永六輔。彼らに共通したのは自由と平和を愛する精神と反骨の心意気だった。彼らの熱く一途な生き様を活写した本書は、我々に生きる知恵と勇気をくれる。

2016:8./ 221p

978-4-08-720845-0

本体 ¥740+税



* 9 7 8 4 0 8 7 2 0 8 4 5 0 *

読売新聞 2016/09/25



五〇年酒場へ行こう

大竹 聡 著

新潮社

昼呑みの聖地・赤羽の老舗でお酒と鰻、祐天寺の人気店でもつ焼きとレモンサワー、荻窪の家族経営居酒屋でビールと鯖豆腐をつつく…。『酒とつまみ』創刊編集長と巡る、東京老舗酒場 34 軒。『新潮 45』『波』連載を単行本化。

2016:8./ 203p

978-4-10-350191-6

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 1 0 3 5 0 1 9 1 6 *

読売新聞 2016/09/25



安藤忠雄 野獣の肖像

古山 正雄 著

新潮社

「闘う建築家」の原点と現在-。70 年代からリアルタイムで安藤忠雄を見続けてきた著者が、建築の革命児の意外な素顔を明かし、あくなき挑戦の真価を問う。

2016:8./ 174p

978-4-10-350241-8

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 1 0 3 5 0 2 4 1 8 *

読売新聞 2016/09/25



地図趣味。

杉浦 貴美子 著

洋泉社

古今東西の偏愛地図コレクション、著者のつくる個性豊かな地図、地図・地形モチーフのお菓子やアクセサリ、地図をたずねる旅…。地図を愛してやまない著者によるビジュアル・エッセイ。「等高線ケーキ」等のレシピも収録。

2016:7./ 143p

978-4-8003-0961-7

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 8 0 0 3 0 9 6 1 7 *

読売新聞 2016/09/25



初期社会主義の地形学(トポグラフィー)～大杉栄とその時代～

梅森 直之 著

有志舎

明治後期に誕生した日本の初期社会主義。日本資本主義批判の系譜の根源に立ち帰り、大杉栄をはじめとする初期社会主義者たちの思想と行動の意味を、かれらが生きたグローバルなコンテキストとともにあきらかにする。

2016:9./ 8p,351p,10p

978-4-908672-05-7

本体 ¥5,400+税



* 9 7 8 4 9 0 8 6 7 2 0 5 7 *

読売新聞 2016/09/25



不死蝶岸田森(ワイズ出版映画文庫 13)

小幡 貴一、田辺 友貴 編

ワイズ出版

独特の眼差し、声、佇まい…。今もなお、ひっそりと人々を魅了し続ける、俳優・岸田森。発言集、エッセイ、脚本、関係者のインタビューなどでその魅力に迫る。未収録エッセイ、出演映画作品の資料、スナップを追加し文庫化。

2016:8./ 522p

978-4-89830-301-6

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 8 9 8 3 0 3 0 1 6 *

読売新聞 2016/09/25



ゴジラ映画音楽ヒストリア～1954-2016～

小林 淳 著

アルファベータブックス

1954 年から 2016 年までの間に製作された日本のゴジラ映画を、音楽に着目して
顧みた作品ガイド&映画音楽論。上映分数、公開年月日、メイン・スタッフ、メイン・
キャストなどを記し、映画解説、音楽概要を展開する。

2016:8./ 294p

978-4-86598-019-6

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2016/09/25



すべての見えない光(CREST BOOKS)

アンソニー・ドーア、藤井 光 著

新潮社

ドイツの若い通信兵と、フランスの盲目の少女の心を?いだしたのは、ラジオから流れる
懐かしい声だった。ピューリッツァー賞受賞の傑作長篇。

2016:8./ 526p

978-4-10-590129-5

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2016/09/25



背番号なし戦闘帽の野球～戦時下の日本野球史 1936-1946～

山室 寛之 著

ベースボールマガジン社

戦時、必死の思いで日本の野球を守り続けた人々がいた。彼らが残した種火こそ
が、戦争によって瀕死となった日本野球を復活させる原動力となった。種火を守り
続けた苦闘の野球史を貴重な資料とともに振り返る。

2016:8./ 367p

978-4-583-10986-2

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2016/09/25



町中華とはなんだ～昭和の味を食べに行こう～

町中華探検隊 著

リットーミュージック

昭和以前から営業し、安くて満腹になれる庶民的な中華店“町中華”が、超高齢
化の荒波にさらされて滅亡の危機にある。昭和の古きよき食文化を記録するた
め、出版業界人が中心となる町中華探検隊が東京の町をめぐる。

2016:8./ 222p

978-4-8456-2823-0

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2016/09/25



鬼平犯科帳<1>(文春文庫)

池波 正太郎 著

文芸春秋

テレビに舞台に、人気絶大の鬼平シリーズ第一巻は「唾の十蔵」「本所・桜屋敷」
「血頭の丹兵衛」「浅草・御厩河岸」「老盗の夢」「暗剣白梅香」「座頭と猿」「むかし
の女」を収録。

2000:4./ 317p

978-4-16-714253-7

本体 ¥560+税



日本経済新聞 2016/09/04



菜の花の沖<1>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

江戸後期、ロシアと日本の間で数奇な運命を辿った北海の快男児・高田屋嘉兵衛
を描いた名作が、大きな活字の新装版で一举大登場!

2000:9./ 403p

978-4-16-710586-0

本体 ¥650+税



日本経済新聞 2016/09/04



日本のインテリジェンス機関(文春新書)

大森 義夫 著

文芸春秋

情報戦とは砲弾なき知恵の闘い。大国のエゴがぶつかる国際政治の現場。日本が生き残るには独自の情報機関が必要だ。辣腕の元内調室長による「視えざる戦場」ガイド。

2005:9./ 192p

978-4-16-660463-0

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2016/09/04



だいこん〜長編時代小説〜(光文社文庫)

山本 一力 著

光文社

江戸・浅草で一膳飯屋「だいこん」を営むつばきとその家族の物語。飯炊きの技と抜き出した商才を持ったつばきが、温かな家族や周囲の情深い人々の助けを借りながら、困難を乗り越え店とともに成長していく。

2008:1./ 629p

978-4-334-74361-1

本体 ¥914+税



日本経済新聞 2016/09/04



召集令状(角川文庫)

小松左京 著

角川書店

日本経済新聞 2016/09/04

1995:5./ 270p

978-4-04-130864-6

本体 ¥485+税



世界史をつくった海賊(ちくま新書 888)

竹田 いさみ 著

筑摩書房

私的な略奪にとどまらず、スパイとして各国情報を収集・報告したり、海軍の中心となって戦争に参加したりと、覇権国家誕生の原動力となった「海賊」。ならず者集団であり英雄でもあった彼らの真実から世界の歴史をとらえ直す。

2011:2./ 238p

978-4-480-06594-0

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2016/09/04



人間の基本(新潮新書 458)

曾野 綾子 著

新潮社

恐るべきは、精神の貧困。ルールより常識を、附和雷同は道を閉ざす、運に向きあう訓練を…。人生を無駄にしないために必要な足場、人間の基本について、確かな人生哲学と豊かな経験をもとに語りつくす。

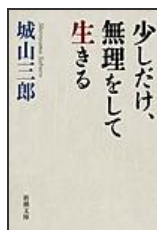
2012:3./ 191p

978-4-10-610458-9

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2016/09/04



少しだけ、無理をして生きる(新潮文庫 し-7-36)

城山 三郎 著

新潮社

視界ゼロ時代には、魅力ある人間だけが生き残る。苦境にあっても自らの信念を貫いた男たちの生き様を通して、人間の「真の魅力」とは何かを語り尽くす。

2012:8./ 200p

978-4-10-113337-9

本体 ¥430+税



日本経済新聞 2016/09/04



64<上>(文春文庫 よ 18-4)

横山 秀夫 著

文藝春秋

二〇一二年のミステリー二冠！ 究極の警察小説登場！ 昭和 64 年に起きた D 県警史上最悪の事件を巡り警務部と刑事部が全面戦争に突入。その狭間に落ちた広報官・三上は己の真を問われる。

日本経済新聞 2016/09/04

2015:2./ 355p

978-4-16-790292-6

本体 ¥640+税



プルトピア～原子力村が生みだす悲劇の連鎖～

ケイト・ブラウン 著

講談社

アメリカはリッチランドに、ロシアはオジョルスクに、プルトニウムの街・原子力村としての“プルトピア”をつくりだした。米ソが「歪んだ理想郷」を生みだした経緯と起源に迫るノンフィクション。

日本経済新聞 2016/09/04

2016:7./ 508p

978-4-06-219999-5

本体 ¥3,000+税



帝都東京を中国革命で歩く

譚 君美 著

白水社

〈明治維新〉と〈中国革命〉が交錯した早稲田、本郷、そして神田……街歩きで見つけた帝都東京の新たな相貌。カラー図版多数。

日本経済新聞 2016/09/04

2016:7./ 246p

978-4-560-09250-7

本体 ¥1,800+税



サードウェーブ～世界経済を変える「第三の波」が来る～

スティーブ・ケース、加藤 万里子 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

大企業／スタートアップ、正規／非正規雇用、大都市／地方都市—IoT の先、「総接続化」時代に成功するのは！？ 史上最大の企業合併を成し遂げた AOL 創設者が語る、未来の成功へのロードマップ。

日本経済新聞 2016/09/04

2016:6./ 263p

978-4-596-55109-2

本体 ¥1,600+税



売茶翁の生涯

ノーマン・ワデル、樋口 章信 著

思文閣出版

京の景勝地で茶店を開き、その深い精神性で庶民だけでなく伊藤若冲や池大雅ら当代一流文化人を魅了した、18 世紀日本における風狂の禅僧、売茶翁。謎に包まれた「茶神」の人生と思想を、その墨跡や書簡からひもとく。

日本経済新聞 2016/09/04

2016:7./ 6p,241p,5p

978-4-7842-1845-5

本体 ¥3,500+税



ブラックアース～ホロコーストの歴史と警告～<上>

ティモシー・スナイダー 著

慶應義塾大学出版会

ドイツの絶え間ない生存競争を、ユダヤ人の倫理観や法感覚が妨げると考えたヒトラーは、やがてユダヤ人のいない世界を構想した。ヒトラー「生存圏」の思想にメスを入れ、ホロコーストの真因を明らかにする。

日本経済新聞 2016/09/04

2016:7./ 298p

978-4-7664-2350-1

本体 ¥2,800+税





ブラックアース～ホロコーストの歴史と警告～<下>

ティモシー・スナイダー 著
慶應義塾大学出版会

ホロコーストはドイツだけで起きたのか。加害者はすべてナチスだったのか。国家機構が破壊され、無法地帯に陥ったその地で、一体何が起こったのか。極限状況における悪を問い直し、未来の大虐殺に警鐘を鳴らす。

2016:7./ 225p, 138p
978-4-7664-2351-8
本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2016/09/04



女性が管理職になったら読む本～「キャリア」と「自分らしさ」を両立させる方法～

ギンカ・トーゲル、小崎 亜依子、林 寿和 著

日本経済新聞出版社

実は、女性のほうが良いリーダーになれる。なのに、なぜ、できる女性は嫌われるのか。「自分らしいキャリアを伴う、充実した人生を歩みたい」と考える女性の悩みや疑問に、スイスのビジネススクール IMD 教授が答える。

2016:6./ 187p
978-4-532-32065-2
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2016/09/04



週刊誌記者近松門左衛門～最新現代語訳で読む「曽根崎心中」「女殺油地獄」～(文春新書 1085)

小野 幸恵 著

文藝春秋

事件現場に駕籠で駆けつける、週刊誌のエース記者のような存在だった近松門左衛門。人気の 2 作品をとりあげ、平易に現代語訳し、事件の背景を知る手がかりとなる当時の大坂を解説する。桐竹勘十郎、市川染五郎らの談話も収録。

2016:7./ 206p
978-4-16-661085-3
本体 ¥750+税



日本経済新聞 2016/09/04



新怖い絵

中野 京子 著

KADOKAWA

「怖い絵」シリーズの大ヒットで知られる中野京子が、満を持して刊行する新刊。モネ、ミレー、シャガール……誰もが知るきれいな名画に、まさかこんな怖い物語が潜んでいたとは……。

2016:7./ 212p
978-4-04-104642-5
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/09/04



キッド～僕と彼女はいかにして赤ちゃんを授かったか～

ダン・サヴェージ 著

みすず書房

何が人を親にし、人々を家族にするんだろう? ゲイのカップル・ダンとテリーが、養子縁組によって子どもを迎えるまでの一喜一憂の道のりを、機知とユーモアたっぷりに等身大で綴った痛快ノンフィクション。

2016:8./ 398p
978-4-622-08513-3
本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2016/09/04



お茶をどうぞ～対談 向田邦子と 16 人～

向田 邦子 著

河出書房新社

対談の名手と言われた向田邦子が、黒柳徹子、森繁久彌、久世光彦らと語った傑作対談集。テレビと小説、食やおしゃれ、男の品定め等。

2016:8./ 244p
978-4-309-02489-9
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/09/04



東芝粉飾の原点～内部告発が暴いた闇～

小笠原 啓 著

日経BP社

何がトップを隠蔽に駆り立てたのか。原発子会社の赤字隠しをスクープした記者が、徹底取材に基づき東芝の不正会計の構図を明らかにする。『日経ビジネス』『日経ビジネスオンライン』掲載に加筆・修正し書籍化。

日本経済新聞 2016/09/04

2016:7./ 319p

978-4-8222-3661-8

本体 ¥1,600+税



芸人最強社会ニッポン(朝日新書 575)

太田 省一 著

朝日新聞出版

政治や報道、芸術などあらゆる分野において卓越した「コミュカ」でその道のプロを駆逐するお笑い芸人。「笑い」をつうじた承認欲求を横軸、戦後芸能史を縦軸に、「芸人」がなぜもてはやされるのか、気鋭の社会学者が分析する。

日本経済新聞 2016/09/04

2016:8./ 214p

978-4-02-273675-8

本体 ¥760+税



日本財政を斬る～国債マイナス金利に惑わされるな～

米澤 潤一 著

蒼天社出版

日本国債という商品が、どんな経緯で誕生し、どんな意味を持ち、どんな生い立ちをたどって今日に至ったのか。歴代総理のもと、戦後の国債発行の歴史にたちあつた著者が、物語風にまとめる。

日本経済新聞 2016/09/04

2016:7./ 16p,193p

978-4-901916-50-9

本体 ¥2,400+税



戦争と人間～運命の序曲 1,2～<1>(光文社文庫)

五味川 純平 著

光文社

日本経済新聞 2016/09/04

1985:1./ 576p

978-4-334-70097-3

本体 ¥620+税



ハリネズミの願い

トーン・テレヘン 著

新潮社

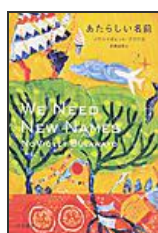
自分のハリが大嫌いで、つきあいの苦手なハリネズミが、誰かを招待しようと思いたち、招待状を書き始める。でも、手紙を送る勇気が出なくて…。臆病で気むずかしいハリネズミに友達はできるのか？ 深い孤独によりそう物語。

日本経済新聞 2016/09/04、産経新聞 2016/09/25

2016:6./ 174p

978-4-10-506991-9

本体 ¥1,300+税



あたらしい名前

ノヴァイオレット・ブラワヨ 著

早川書房

ジンバブエの少女ダーリンは、暴力的でもろい世界のなかで成長していく。ジュノ・ディアスが絶賛した新人作家のデビュー作がついに登場。ブッカー賞最終候補作、PEN／ヘミングウェイ賞受賞作

日本経済新聞 2016/09/04、朝日新聞 2016/09/25

2016:7./ 317p

978-4-15-209624-1

本体 ¥2,200+税





ゆけ、おりょう

門井 慶喜 著

文藝春秋

「あねさん、坂本さんと別れて下さい」「は？」世話のやける弟だったはずの龍馬はいつしか時代の英雄へ——酒飲みで口が達者、自分を見失わないおりょうの魅力満載の歴史長編。

2016:8./ 325p

978-4-16-390502-0

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/09/04、読売新聞 2016/09/25



グレース・ケリー～華やかな映画スターから美しいプリンセスへ～(集英社版・学習漫画)

佐藤 真樹、堀ノ内 雅一 著

集英社

ハリウッドからモナコ公妃へ。演劇を知ったことから人生が意外な方向に展開していく、内気な女の子の努力と成長の物語。家族に認め

2010:10./ 141p

978-4-08-240046-0

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2016/09/11



ジュラシック・パーク<上>(Hayakawa novels)

マイクル・クライトン、酒井 昭伸 著

早川書房

日本経済新聞 2016/09/11

1991:6./ 315p

978-4-15-207714-1

本体 ¥1,456+税



ジュラシック・パーク<下>(Hayakawa novels)

マイクル・クライトン、酒井 昭伸 著

早川書房

日本経済新聞 2016/09/11

1991:6./ 336p

978-4-15-207715-8

本体 ¥1,456+税



エリザベス・ブラックウェル～運命を切り開いた世界で最初の女性医師～(集英社版・学習漫画)

東 園子、堀ノ内 雅一、橋本 葉子 著

集英社

女性が働くことすら困難だった時代、世界ではじめて女性の医師となったエリザベス・ブラックウェル。さまざまな差別や悲劇を乗り越え、医師となり、病院や女性のための医学校を作ったその一生を漫画で紹介します。

2011:7./ 141p

978-4-08-240052-1

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2016/09/11



ココ・シャネル(コミック版世界の伝記 19)

久松 ゆのみ、塚田 朋子 著

ポプラ社

男性社会だった 20 世紀初めのフランスで、ファッションデザイナー、女性実業家として活躍したココ・シャネル。今までにない自由な発想と実行力で時代を変えた彼女の人生をまんがで紹介。解説「ためになる学習資料室」も掲載。

2012:3./ 126p

978-4-591-12836-7

本体 ¥950+税



日本経済新聞 2016/09/11



ウォルト・ディズニー(コミック版世界の伝記 25)

中 祥人、星井 博文、ウォルト・ディズニー・カンパニー 著

ポプラ社

ディズニーランドをつくり上げた創作者・ウォルト・ディズニー。世界中の人たちに夢と魔法を届けたその人生をまんがで紹介。解説「ためになる学習資料室」も掲載。見返しに地図あり。

日本経済新聞 2016/09/11

2013:3./ 126p

978-4-591-13230-2

本体 ¥950+税



オードリー・ヘプバーン～世界中で愛されつづける永遠のヒロイン～(学研まんが NEW 世界の伝記 SERIES)

清藤 秀人、いつき 楼 著

学研教育出版

シンデレラ・ストーリーを実現させた女優オードリーの一生を描くオールカラーの学習まんが。父との別れ、戦時中のつらい体験、バレエでの挫折、晩年のユニセフ活動と、多方面から彼女を描き出す。巻末には、時代の背景や名言など詳しい資料つき。

日本経済新聞 2016/09/11

2015:7./ 144p

978-4-05-204083-2

本体 ¥1,000+税



ニール・アームストロング～人類史上初めて月に降り立った宇宙飛行士～(学研まんが NEW 世界の伝記 SERIES)

縣 秀彦、藤森 カンナ 著

学研教育出版

アポロ11号で人類史上初めて月面に降り立った宇宙飛行士の一生を描いたオールカラーの伝記まんが。巻末には、その人物が生きた時代の背景や、その人物に関する詳しい資料を掲載して、まんがの内容がより深く理解できるようになっている。

日本経済新聞 2016/09/11

2015:7./ 144p

978-4-05-204192-1

本体 ¥1,000+税



幽霊とは何か～五百年の歴史から探るその正体～

ロジャー・クラーク、桐谷 知未 著

国書刊行会

イギリスの歴史のなかで報告されてきた幽霊出没の物語をひもとくとともに、霊媒師やゴーストハンターたちの活躍を追い、幽霊をめぐる文学や評論を取り上げる。時代とともに変化していく幽霊の姿を真摯に追いかけた一冊。

日本経済新聞 2016/09/11

2016:7./ 462p

978-4-336-06006-8

本体 ¥3,700+税



行動経済学の逆襲

リチャード・セイラー、遠藤 真美 著

早川書房

人間は合理的。市場は正しい。こうした経済学の大前提に真っ向から挑んだ行動経済学。その第一人者が、自らの研究者人生を振り返りつつ、“異端の学問”が広く支持されるようになった過程を描く。

日本経済新聞 2016/09/11

2016:7./ 527p

978-4-15-209625-8

本体 ¥2,800+税





逆転の大中国史～ユーラシアの視点から～

楊 海英 著

文藝春秋

視点を北京から移してみると、歴史は違って見えてくる。ユーラシアの遊牧民の歴史と文明に即して中国史と中華思想を相対化。最新の考古学、文化人類学、言語学を駆使した、まったく新しい視座をあたえる「逆転の大中国史」。

日本経済新聞 2016/09/11

2016:8./ 309p

978-4-16-390506-8

本体 ¥1,550+税



マイヤ・プリセツカヤ(コミック版世界の伝記 34)

迎 夏生、村山 久美子 著

ポプラ社

共産党政権下のソ連で、政府からのさまざまな圧力と闘いながら踊りつづけたマイヤ・プリセツカヤ。20 世紀最高といわれるバレリーナの人生をまんがで紹介。解説「ためになる学習資料室」も掲載。見返しに記事あり。

日本経済新聞 2016/09/11

2016:8./ 126p

978-4-591-15102-0

本体 ¥950+税



ユリシーズを燃やせ

ケヴィン・バーミンガム、小林 玲子 著

柏書房

かつて「猥褻」と呼ばれた小説は、いかにして「現代の古典」となったか。「ユリシーズ」の発展を、短編の構想にすぎなかった段階から追い、第一次大戦前後の驚くべき進化を描く。より面白く読むためのブックガイドも収録。

日本経済新聞 2016/09/11

2016:8./ 463p 図版
12p

978-4-7601-4731-1

本体 ¥2,700+税



坂の上の雲<1> 新装版

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

伊予松山出身の三人、無敵を誇ったコサック騎兵を破った陸軍の名将・秋山好古、その弟で海軍の名参謀・秋山真之、そして俳句の開祖正岡子規。清新な次代の風をうけて夢をふくらませた各人の青春を描く。昭和 44 年刊の新装版。

日本経済新聞 2016/09/18

2004:4./ 449p

978-4-16-322810-5

本体 ¥1,600+税



アインシュタインからの墓碑銘

比企 寿美子 著

出窓社

日本を愛し日本人を慈しんだ天才アインシュタインと、医学を通して日欧の橋渡しに貢献した 1 人の外科医にとって、戦争とは何だったのだろう。近代史の暗部に踏み入り、戦争と平和の意味を現代に問い直す。

日本経済新聞 2016/09/18

2009:7./ 221p

978-4-931178-70-0

本体 ¥1,500+税



コンタクト<下巻>(新潮文庫)

カール・セーガン、池央耿 著

新潮社

日本経済新聞 2016/09/18

1989:7./ 363p

978-4-10-229402-4

本体 ¥590+税





コンタクト<上巻>(新潮文庫)
カール・セーガン、池央耿 著
新潮社
日本経済新聞 2016/09/18

1989:7./ 348p
978-4-10-229401-7
本体 ¥590+税

* 9 7 8 4 1 0 2 2 9 4 0 1 7 *



文明論之概略(岩波文庫 青 102-1)
福沢 諭吉、松沢 弘陽 著
岩波書店
国の独立は目的なり。今の我が文明はこの目的に達するの術なりー西洋心酔と保守主義の相確執する明治初期、文明の本質を論じ、文明は文明自らに意味があるとした上で、今最も優先すべき課題は日本国の独立であり、西洋文明を学ぶのもそのためであると説く。

1995:3./ 391p
978-4-00-331021-2
本体 ¥960+税

* 9 7 8 4 0 0 3 3 1 0 2 1 2 *

日本経済新聞 2016/09/18



医者のみた福沢諭吉～先生、ミイラとなって昭和に出現～(中公新書)
土屋雅春 著
中央公論新社
日本経済新聞 2016/09/18

1996:10./ 235p
978-4-12-101330-9
本体 ¥699+税

* 9 7 8 4 1 2 1 0 1 3 3 0 9 *



坂の上の雲<1> 新装版(文春文庫)
司馬 遼太郎 著
文芸春秋
松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。

1999:1./ 350p
978-4-16-710576-1
本体 ¥650+税

* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 7 6 1 *

日本経済新聞 2016/09/18



坂の上の雲<2> 新装版(文春文庫)
司馬 遼太郎 著
文芸春秋
日本経済新聞 2016/09/18

1999:1./ 413p
978-4-16-710577-8
本体 ¥650+税

* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 7 7 8 *



坂の上の雲<3> 新装版(文春文庫)
司馬 遼太郎 著
文芸春秋
日本経済新聞 2016/09/18

1999:1./ 361p
978-4-16-710578-5
本体 ¥650+税

* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 7 8 5 *



坂の上の雲<4> 新装版(文春文庫)
司馬 遼太郎 著
文芸春秋
日本経済新聞 2016/09/18

1999:1./ 414p
978-4-16-710579-2
本体 ¥650+税

* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 7 9 2 *



坂の上の雲<5> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
日本経済新聞 2016/09/18

1999:2./ 413p
978-4-16-710580-8
本体 ¥650+税



坂の上の雲<6> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
日本経済新聞 2016/09/18

1999:2./ 375p
978-4-16-710581-5
本体 ¥650+税



坂の上の雲<7> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
日本経済新聞 2016/09/18

1999:2./ 365p
978-4-16-710582-2
本体 ¥650+税



坂の上の雲<8> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
日本経済新聞 2016/09/18

1999:2./ 397p
978-4-16-710583-9
本体 ¥650+税



ハチはなぜ大量死したのか(文春文庫 S7-1)

ローワン・ジェイコブセン 著
文芸春秋

2007 年、300 億匹、北半球のハチの 4 分の 1 が消えた。突然働きバチがすべて失踪、コロニーは全滅する。蜂群崩壊症候群の原因究明でみえてきた地球の生態系の危機。現代版「沈黙の春」。

2011:7./ 413p
978-4-16-765175-6
本体 ¥781+税



日本経済新聞 2016/09/18



ジョン・F・ケネディ ホワイトハウスの決断〜ケネディ・テープ 50 年後明かされた真実〜

テッド・ウイドマー 編
世界文化社

ジョン・F・ケネディは大統領執務室と閣僚会議室に隠しマイクを取りつけた。その結果、きわめて貴重な歴史的記録が残された。重要な部分を抜粋・編集して、ケネディ大統領時代のさまざまなドラマを伝える。肉声 CD 付き。

2013:10./ 413p
978-4-418-13232-4
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2016/09/18



ヒトはどこまで進化するか

エドワード・O.ウィルソン、小林 由香利 著
亜紀書房

社会性昆虫の生態、極限環境に棲む微生物から、地球外生命体の可能性、意識と自由意志の先端研究までを論じ、「人間はなぜ存在するのか」という謎に挑む。ピューリッツァー賞受賞の生物学者によるサイエンス・アドベンチャー。

2016:6./ 237p
978-4-7505-1475-8
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2016/09/18



悪いヤツほど出世する

ジェフリー・フェファー、村井 章子 著

日本経済新聞出版社

スタンフォード大学ビジネススクールの人気教授が、豊富な実例から、巷にはびこるリーダー論の「ウソ」を暴き、悪しき上司の犠牲にならないためのヒントを提示する。「「権力」を握る人の法則」の続編。

2016:6./ 331p

978-4-532-32081-2

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/09/18



漱石の漢詩(文春学藝ライブラリー)

和田 利男 著

文藝春秋

少年期から漢籍に親しんだ漱石は、英文学ではなく漢文学で身を立てようとまで考えていた。その漱石漢詩をつぶさに吟味しつつ、杜甫や李白など唐代の漢詩人の影響を考える。吉川幸次郎に先んじた泰斗の記念碑的著書。

2016:8./ 276p

978-4-16-813067-0

本体 ¥1,140+税



日本経済新聞 2016/09/18



金融市場は制御可能なのか?(KINZAI バリュー叢書)

ハワード・デイビス、田中 正明 著

金融財政事情研究会

規制当局、学界、ビジネス界で輝かしい実績を重ね、世界の監督者・経営者の尊敬を集める国際金融界の泰斗が、ウィット豊かに、そして鋭い視点から、金融市場が実体経済に仕え、安定させる存在に変わるための道筋を解説する。

2016:8./ 3p,149p

978-4-322-12867-3

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2016/09/18



ヒトラーの娘たち〜ホロコーストに加担したドイツ女性〜

ウェンディ・ロワー、武井 彩佳、石川 ミカ 著

明石書店

ナチズムが生んだ一般のドイツ女性たちは、“血塗られた地”で熱意あふれる事務職員であり、掠奪者であり、拷問者であり、殺人者であった。レイシズム、国家主義のさいはてに待つ、知られざる歴史の闇に迫る。

2016:7./ 325p

978-4-7503-4374-7

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2016/09/18



無十

斎藤 義重、千石 英世 編

斎藤 義重 著

水声社

戦後日本を代表する現代美術家による日記日録。貧苦のなか息子たちを施設に預ける状況を綴る「無十」を中心に、著者の未発表の 5 冊の手書きノート(のコピー)をできる限り原文通りおこし、まとめたもの。

2016:7./ 299p

978-4-8010-0125-1

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2016/09/18



マッキンゼー流最高の社風のつくり方～高業績を生む「組織文化」のシンプル構築術～

ニール・ドシ、リンゼイ・マクレガー、野中 香方子 著

日経BP社

ToMo(トータル・モチベーション)の高い社風は、組織の生産性を高め、社員を躍動させ、高利益を生みだす。どうすれば ToMo の高い社風を構築できるのか、そのメカニズムを解説し、捉えにくい社風を科学的に可視化する。

2016:7./ 422p
978-4-8222-5166-6

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 8 2 2 5 1 6 6 6 *

日本経済新聞 2016/09/18



世界のエリートがやっている最高の休息法～「脳科学×瞑想」で集中力が高まる～

久賀谷 亮 著

ダイヤモンド社

脳は「何もしない」でも、勝手に疲れていく。科学的に正しい脳の休め方・マインドフルネスについて、脳科学的な知見を交えながら物語形式で解説する。アメリカの精神科医がすすめる5日間シンプル休息法も紹介する。

2016:7./ 248p,6p
978-4-478-06844-1

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 4 7 8 0 6 8 4 4 1 *

日本経済新聞 2016/09/18



生活者視点で変わる小売業の未来～希望が買う気呼び起こす商圈マネジメントの重要性～(実践と応用シリーズ)

上田 隆穂 著

宣伝会議

ネット販売や新しい決済方法、商品の受け取り方など、様々な革新が起きている流通小売業。その大きな変化を「生活者の視点」で見直すとうなるのか。小売りの実証実験の結果をもとに新しい小売業のあり方をまとめる。

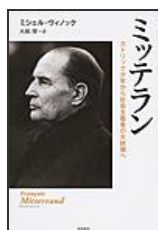
2016:8./ 249p
978-4-88335-367-5

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 8 8 3 3 5 3 6 7 5 *

日本経済新聞 2016/09/18



ミッテラン～カトリック少年から社会主義者の大統領へ～

ミシェル・ヴィノック、大嶋 厚 著

吉田書店

社会党出身のフランス大統領、フランソワ・ミッテラン。ド・ゴールとの対決、左翼の再建と政権交代、欧州統合…。フランス現代史に深い刻印を残した政治家の生涯を、一級の歴史家が描く。

2016:8./ 499p 図版
16p

978-4-905497-43-1

本体 ¥3,900+税



* 9 7 8 4 9 0 5 4 9 7 4 3 1 *

日本経済新聞 2016/09/18



悪癖の科学～その隠れた効用をめぐる実験～

リチャード・スティーヴンズ 著

紀伊國屋書店出版部

汚い言葉、性的妄想、危険運転、ストレス、死…。世間ではマイナスイメージで見られていることにも、隠された利点があるのではないか? イグ・ノーベル賞受賞の心理学者が、科学のニッチと謎多き人間の深奥に迫る。

2016:8./ 281p
978-4-314-01141-9

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 3 1 4 0 1 1 4 1 9 *

日本経済新聞 2016/09/18



ピアニストは語る(講談社現代新書 2389)

ヴァレリー・アフアナシエフ 著

講談社

モスクワでの幼年時代、音楽院での修業の日々、亡命、愛する作品と作曲家について、ピアノ演奏について。カリスマピアニストが人生と音楽の哲学を語る。

日本経済新聞 2016/09/18

2016:9./ 242p

978-4-06-288389-4

本体 ¥800+税



ゆたかな社会 決定版(岩波現代文庫 S(社会) 137)

ガルブレith、鈴木 哲太郎 著

岩波書店

現代資本主義の特質を明らかにした著作として古典的位置を占める本書(第4版)では、マネタリズムの金融政策、環境問題、軍事支出などを既に批判的に考察、ゆたかな社会が政治的に保守化していくという陥穽が解明される。

日本経済新聞 2016/09/25

2006:10./ 440p

978-4-00-603137-4

本体 ¥1,380+税



兄弟<上> 文革篇(文春文庫)

余 華、泉 京鹿 著

文芸春秋

大富豪となった弟は、報われなかった兄の遺灰を携え宇宙へと旅立った。文革から開放経済、極端なふたつの時代を描き切る長篇小説。

日本経済新聞 2016/09/25

2010:12./ 521p

978-4-16-770590-9

本体 ¥924+税



兄弟<下> 開放経済篇(文春文庫)

余 華、泉 京鹿 著

文芸春秋

大富豪となった弟は、報われなかった兄の遺灰を携え宇宙へと旅立った。文革から開放経済、極端なふたつの時代を描き切る長篇小説。

日本経済新聞 2016/09/25

2010:12./ 524p

978-4-16-770591-6

本体 ¥924+税



捨てられる銀行(講談社現代新書 2371)

橋本 卓典 著

講談社

新しいビジネスモデルが求められる時代に生き残る銀行とは? 98年の金融危機以降、金融行政がどのように変遷してきたのか、その問題点は何なのかを見つめ直し、森金融庁長官が進める大改革の行方を見通す。

日本経済新聞 2016/09/25

2016:5./ 252p

978-4-06-288369-6

本体 ¥800+税



第三帝国(ボラーニョ・コレクション)

ロベルト・ボラーニョ 著

白水社

ドイツ人青年が恋人とカタルーニャの浜辺で過ごす奇妙な休暇。『野生の探偵たち』『2666』に連なる、没後に発見された異色の長篇。

日本経済新聞 2016/09/25

2016:8./ 404p

978-4-560-09267-5

本体 ¥3,600+税





オンラインデートで学ぶ経済学

ポール・オイヤー、土方 奈美 著

NTT出版

スタンフォードの MBA 教授が、インターネットを使った交際相手とのマッチングサービスである「オンラインデート」を題材として、経済学の考え方を丁寧に解説する。

2016:6./ 273p

978-4-7571-2354-0

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2016/09/25



「世界のクロサワ」をプロデュースした男 本木荘二郎

鈴木 義昭 著

山川出版社

黒澤明に「本木がいなきゃ俺の映画(しゃしん)はできない」といわしめた人物は、なぜ黒澤と袂を分かち、人知れずピンク映画の世界で生きたのか。映画プロデューサー・本木荘二郎の人生を克明に追う。

2016:7./ 311p

978-4-634-15094-2

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/09/25



ねないこはわたし

せな けいこ 著

文藝春秋

あのおばけはいかに生まれたか。「ねないこだれだ」の名絵本作家が、自らの創作の源泉やおばけとのかかわりを、貴重な資料とともに綴る。フルカラーの貼り絵原画も満載。

2016:7./ 125p

978-4-16-390484-9

本体 ¥1,450+税



日本経済新聞 2016/09/25



装いの王朝文化(角川選書 573)

川村 裕子 著

KADOKAWA

王朝の人々は、TPO にあわせて変幻自在に衣服を使い分け、それは「源氏物語」等の作品のなかで、様々な場面を演出する記号として描かれてきた。そんな装束の記号性を頼りに古典作品を読み解き、新たな解釈を提示する。

2016:7./ 187p

978-4-04-703575-1

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2016/09/25



最高機密エージェント～CIA モスクワ諜報戦～

デイヴィッド・E.ホフマン、花田 知恵 著

原書房

西側の対ソ戦略に大きな影響を与えた冷戦時代最大のロシア人スパイ、アドルフ・トルカチェフの実像。ピューリッツァー賞記者が膨大な記録から掘り起こした骨太のベストセラー・ノンフィクション！

2016:7./ 434p 図版 16p

978-4-562-05336-0

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2016/09/25



ガルブレイス～異端派経済学者の肖像～

根井 雅弘 著

白水社

「拮抗力」「依存効果」「社会的アンバランス」「テクノストラクチャ」など独創的な概念で資本主義の本質に迫ろうとした異端派経済学者、ガルブレイスの肖像を描く。

2016:8./ 200p

978-4-560-09512-6

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2016/09/25



歴史としての社会主義～東ドイツの経験～

河合 信晴 編

ナカニシヤ出版

社会主義とは何だったのか。東ドイツ社会を生きた人々の日常生活の一面を掘り起こし、社会主義社会の歴史的経験を検証する。

日本経済新聞 2016/09/25

2016:7./ 7p,286p

978-4-7795-1080-9

本体 ¥4,200+税



昭和なつかし食の人物誌(平凡社新書 824)

磯辺 勝 著

平凡社

昭和を生きた人々は食に自らの心の安らぎを求めたのか?その時代を中心に活躍した著名人 30 名の生き方と食の結びつきを探索。

日本経済新聞 2016/09/25

2016:9./ 231p

978-4-582-85824-2

本体 ¥820+税



アメリカの資本主義

ジョン・K.ガルブレイス 著

白水社

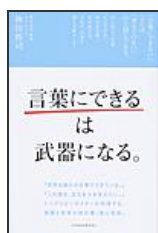
巨大かつ強力な市場支配にいかに対峙すべきか?チェーンストアや生協、労組に「拮抗力」を見出した異端派経済学者の輝やける出発点。

日本経済新聞 2016/09/25

2016:9./ 256p,2p

978-4-560-09511-9

本体 ¥2,400+税



「言葉にできる」は武器になる。

梅田 悟司 著

日本経済新聞出版社

内なる言葉に目を向けよう! 理系一辺倒で、さほど読書経験もない著者が、いかにして思考を深め、ひとりでも多くの人の心に響く言葉を生み出そうとしているのかを、誰もが同じプロセスをだどれるように順を追って説明する。

日本経済新聞 2016/09/25

2016:8./ 255p

978-4-532-32075-1

本体 ¥1,500+税



マイナス金利政策～3次元金融緩和の効果と限界～

岩田 一政、左三川 郁子、日本経済研究センター 著

日本経済新聞出版社

賛否両論が渦巻く歴史的な大実験、マイナス金利政策。経済、マーケットへの影響は? 副作用は? 長期停滞論、ヘリコプター・マネー論も交え、マイナス金利政策の効果を徹底検証する。

日本経済新聞 2016/09/25

2016:8./ 405p

978-4-532-35704-7

本体 ¥2,800+税



社会学講義(ちくま新書 1205)

橋爪 大三郎、佐藤 郁哉、吉見 俊哉、大澤 真幸、若林 幹夫、野田 潤 著

筑摩書房

社会学の基本的な視点から説き起こし、テーマの見つけ方・深め方、フィールドワークの手法までを第一人者が講義形式で丁寧に解説。

日本経済新聞 2016/09/25

2016:9./ 261p,5p

978-4-480-06898-9

本体 ¥860+税





8歳から80歳までの世界文学入門(対話で学ぶ<世界文学>連続講義 4)

沼野 充義 著

光文社

池澤夏樹、小川洋子、青山南、岸本佐知子、マイケル・エメリックらに対談ゲストに迎え、文学について様々な角度から話し合う。イベント「世界は文学でできている-10代から出会う翻訳文学案内」などの講演をもとに再構成。

2016:8./ 341p

978-4-334-97882-2

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/09/25



久保利英明ロースクール講義～君は<正義>のために闘えるか?～

久保利 英明 著

日経BP社

弁護士はクールヘッドを持った闘争業-。久保利英明をはじめ、中村直人、岡田和樹ら実力派弁護士によるライブ形式のレッスン。女子アナから弁護士に転身した菊間千乃が書き下ろした講義録も収録。

2016:8./ 282p

978-4-8222-5169-7

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2016/09/25



ヌメロ・ゼロ

ウンベルト・エーコ 著

河出書房新社

『薔薇の名前』著者の最後の傑作!新聞社を舞台に情報社会の脆さにつけこむ歪んだジャーナリズムの陰謀をミステリータッチで描く。

2016:9./ 206p

978-4-309-20703-2

本体 ¥1,850+税



日本経済新聞 2016/09/25



ファミリーラブストーリー(講談社文庫 ひ 55-3)

樋口 卓治 著

講談社

離婚を切り出された脚本家の隆介は、ホームドラマのシナリオを書きながら悩む。自分は別れたくない。その理由は、世間体か、お金か、妻を愛しているから? ドラマは高視聴率のまま最終回に向かい、離婚期日は刻一刻と近づく。

2016:9./ 235p

978-4-06-293480-0

本体 ¥610+税



日本経済新聞 2016/09/25



地方銀行消滅(朝日新書 578)

津田 倫男 著

朝日新聞出版

全国の地方銀行が人口減少による経営先細りに苦しみ、統合・再編に走り始めている。5年後には計105行が20ほどのグループに姿を変えるだろう。生き残る地銀は? 元敏腕バンカーが大胆に予測する。列島再編チャート付き。

2016:9./ 221p

978-4-02-273096-1

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2016/09/25



沸点〜ソウル・オン・ザ・ストリート〜

チェ ギュンソク、加藤 直樹、クオン ヨンソク 著

ころから

路上で、大学で、工場で、民主主義を求めて叫ぶ人々の声が、凍えた時代に熱を与え始めていた。この国は静かに、「100回」へと、沸騰へと向かいつつあった-。1980年代韓国の民主化闘争を描いたグラフィック・ノベル。

2016:6./ 189p

978-4-907239-19-0

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2016/09/03



励み場

青山 文平 著

角川春樹事務所

百姓の出で、石澤郡の北岡で代官所に勤めていた笹森信郎は、「武家になる」という決意の下、大庄屋の出戻り娘・智恵を連れて江戸に出る。勘定所の下役となった信郎は、実績を積み上げて、真の武家を目指すのだが…。

2016:9./ 270p

978-4-7584-1292-6

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/09/03



柳生但馬守〜柴錬立川文庫〜(文春文庫)

柴田錬三郎 著

文藝春秋

徳川家康の命をうけて淀君誘拐を企む柳生但馬守。謀略に気づいた真田幸村と猿飛佐助が打った手とは。「柳生但馬守」「竹中半兵衛」「佐々木小次郎」「伊藤一刀斎」他四篇収録。

1992:8./ 270p

978-4-16-714313-8

本体 ¥388+税



毎日新聞 2016/09/04



場所はいつも旅先だった(集英社文庫 ま 17-4)

松浦 弥太郎 著

集英社

毎日新聞 2016/09/04

2011:2./ 254p

978-4-08-746667-6

本体 ¥580+税



奇想天外だから史実〜天神伝承を読み解く〜(阪大リーブル 53)

高島 幸次 著

大阪大学出版会

荒唐無稽にみえる天神伝承に隠されている史実を、文献から読み解く。天神さんに親しむ大阪人をはじめ、歴史好きの人にお薦め。

2016:3./ 9p,211p

978-4-87259-438-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/09/04



介護漂流〜認知症事故と支えきれない家族〜

山口 道宏 著

現代書館

二〇〇七年に名古屋で起きた認知症鉄道事故の裁判の経過を基に、老老介護、介護離職など在宅介護における厳しい現実と、「施設・病院から在宅へ」と掲げる政策、介護保険制度の限界により負担が強えられる実態を詳らかにする。

2016:4./ 229p

978-4-7684-3547-2

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/09/04



心という難問〜空間・身体・意味〜

野矢 茂樹 著

講談社

ついに、世界と心ある他者に出会えた-。私が見たり聞いたりしているこれは、本当に世界そのものなのだろうか。かつては誰も見通すことができなかった、知覚し感覚するという経験を解き明かす、思考のドキュメント。

2016:5./ 4p,375p

978-4-06-220078-3

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/09/04



「健康食品」ウソ・ホント～「効能・効果」の科学的根拠を検証する～(ブルーバックス B-1972)

高橋 久仁子 著

講談社

脂肪の吸収を抑え排出を増加させるトクホコーラ、体に脂肪がつきにくい中鎖脂肪酸を含む食用油…。国の制度によって効能・効果を大々的にアピールする保健機能食品の実態を、科学的に検証する。

2016:6./ 254p

978-4-06-257972-8

本体 ¥900+税



毎日新聞 2016/09/04



大災害の時代～未来の国難に備えて～

五百旗頭 真 著

毎日新聞出版

関東・阪神・淡路、東日本を中心に、2016 年の熊本地震まで、日本社会の地震に対する歴史性とその問題点を明らかにし、来るべき大災害への対策を提案する。『毎日新聞』連載を単行本化。

2016:6./ 330p

978-4-620-32366-4

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2016/09/04



イラストレーター安西水丸

安西 水丸、安西水丸事務所、嵐山 光三郎、安西 カオリ、村上 春樹 著

クレヴィス

書籍の装丁、雑誌やポスター、小説やエッセイの執筆…。多様な活動をしながらも「イラストレーターであることの誇り」を常に持ち続け、ひとつの時代を風のように駆け抜けた作家の軌跡を辿る。見返しにイラストあり。

2016:6./ 235p

978-4-904845-63-9

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2016/09/04



時代区分は本当に必要か?～連続性と不連続性を再考する～

ジャック・ル＝ゴフ、菅沼 潤 著

藤原書店

「時代」という枠組みは、いかなる前提を潜ませているのか。アナール派中世史の泰斗が、「闇の時代=中世」から「光の時代=ルネサンス」へ、という歴史観の発生を跡付け、歴史の切り分けは本当に必要かという問題を検討する。

2016:7./ 214p

978-4-86578-079-6

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2016/09/04



限界の正体～自分の見えない檻から抜け出す法～

為末 大 著

SBクリエイティブ

自分の思い込みや、社会の常識が心のブレーキになっているのであれば、それを外しさえすれば、今この瞬間にも、自己ベストを更新できる。元陸上選手の為末大が、限界の檻から抜け出す方法を紹介する。

2016:7./ 187p

978-4-7973-8541-0

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2016/09/04



縄向発見と邪馬台国の全貌～卑弥呼と三角縁神獣鏡～(発見・検証日本の古代 1)

古代史シンポジウム「発見・検証日本の古代」集委員会 編

KADOKAWA

最前線の歴史学者・考古学者が白熱の論議を展開した 2015 年の記念碑的シンポジウムを完全収録。第 I 巻は縄向遺跡を中心として邪馬台国や三角縁神獣鏡の謎と実態を徹底解明。新たな古代史学はここから始まる。

2016:7./ 348p

978-4-04-876390-5

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2016/09/04



彼女のひたむきな 12 カ月

アンヌ・ヴィアゼムスキー、原 正人 著

DU BOOKS

ゴダールに恋した青春の日々。祖父モーリヤック、ジャン＝ピエール・レオ、トリュフォー、ジャンヌ・モロー…。綺羅星のごとき人々と過ごした激動の 1 年を、映画監督ゴダールの元妻アンヌ・ヴィアゼムスキーが描く自伝的小説。

2016:7./ 326p

978-4-907583-65-1

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2016/09/04



浅草と高尾山の不思議～東京を再発見する大人の旅～

言視舎

東京の東と西のパワースポット、浅草と高尾山。寺院信仰とは無関係な外国人にも若者にも人気のこの二大「聖地＝観光地」は、なぜ人を引き寄せるのか？ 対比することでその魅力の本質を明らかにする。

2016:8./ 191p

978-4-86565-062-4

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/09/04



東京會館とわたし<上> 旧館

辻村 深月 著

毎日新聞出版

大正 11 年、丸の内に落成した国際社交場・東京會館。海外ヴァイオリニストのコンサート、灯火管制下の結婚式、未知のカクテルを編み出すバーテンダー…。 “會館の人々”が織り成すドラマ。『サンデー毎日』連載を単行本化。

2016:8./ 285p

978-4-620-10821-6

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2016/09/04



東京會館とわたし<下> 新館

辻村 深月 著

毎日新聞出版

昭和 46 年、新館への建て替えを経た東京會館。緊張で肩を震わす舞台女優、東日本大震災の日、直木賞授賞を知らされた父子…。東京會館の歴史を下敷きとした、優しさと慈しみに満ちた物語。『サンデー毎日』連載を単行本化。

2016:8./ 285p

978-4-620-10822-3

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2016/09/04



妻籠め

佐藤 洋二郎 著

小学館

親友の謎の死。恩師とも言える神父の失踪。若き日の 2 つの喪失を抱えて生きるわたしの前に現れたのが、女子大生・真琴だった。彼女に勧められるままに、神社を巡る旅に 2 人で行くことになり-

2016:7./ 189p

978-4-09-386444-2

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/09/04、読売新聞 2016/09/18



戦争まで～歴史を決めた交渉と日本の失敗～

加藤 陽子 著

朝日出版社

かつて日本は、世界から「どちらを選ぶか」と 3 度、問われた。より良き道を選べなかったのはなぜか。「歴史を選ぶ」際の作法を、戦争までの歴史を決めた 3 つの交渉から考える。連続講義に加筆、再構成。

2016:8./ 466p

978-4-255-00940-7

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2016/09/04、日本経済新聞 2016/09/25



ショック・ドクトリン～惨事便乗型資本主義の正体を暴く～<上>

ナオミ・クライン 著

岩波書店

アメリカ政府とグローバル企業は、戦争、自然災害、政変などの危機につけこんで、あるいはそれを意識的に招いて、過激な経済改革を強行してきた。惨事便乗型資本主義=ショック・ドクトリンの全貌を暴く。

2011:9./ 8p,345p,46p

978-4-00-023493-1

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2016/09/11



ショック・ドクトリン～惨事便乗型資本主義の正体を暴く～<下>

ナオミ・クライン 著

岩波書店

大規模な民営化導入に災害や危機を利用するショック・ドクトリン。ソ連崩壊後のロシア、アパルトヘイト政策廃止後の南アフリカ、さらには最近のイラク戦争やアジアの津波災害などを通し、ショック・ドクトリンの全貌を暴く。

2011:9./ 8p,357 ～

686,66p

978-4-00-023494-8

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2016/09/11



シリーズ日本の安全保障<1> 安全保障とは何か

遠藤 誠治、遠藤 乾、遠藤 誠治、遠藤 乾 著

岩波書店

「国家の安全」ではなく「人間の安全」に主眼をおきながら、現在と将来の安全保障を考えるために不可欠な論点を体系的に提示。1 は、安全保障論の変化を踏まえ、日本の文脈と課題を整理し、問題意識を示す。

2014:10./ 10p,306p

978-4-00-028751-7

本体 ¥2,900+税



毎日新聞 2016/09/11



日本文学全集<30> 日本語のために

池澤 夏樹、池澤 夏樹 編

池澤 夏樹 著

河出書房新社

日本文学の定義は日本語で書かれていることである。言語と文学の関係を明らかにするための実例と日本語論を幅広く集め、豊饒の由来を明らかにする。

2016:8./ 524p

978-4-309-72900-8

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2016/09/11



移ろう中東、変わる日本～2012-2015～

酒井 啓子 著

みすず書房

アラブの春から「イスラーム国」へと混迷する中東、中東化する日本。転機の 3 年間に冷静な危機感をもってつづられた、出色の時評集。

2016:1./ 281p

978-4-622-07958-3

本体 ¥3,400+税



毎日新聞 2016/09/11



乱舞の中世～白拍子・乱拍子・猿楽～(歴史文化ライブラリー 420)

沖本 幸子 著

吉川弘文館

庶民のみならず貴族や寺院社会を席卷した、白拍子・乱拍子というリズム。滅びてしまった芸能を復元し、今に伝わる能楽にどのように包含されているのかを考察。人々が身体表現の楽しさを知り、舞い始めた時代を描く。

2016:3./ 6p,189p

978-4-642-05820-9

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2016/09/11



自由民権運動〜<デモクラシー>の夢と挫折〜(岩波新書 新赤版 1609)

松沢 裕作 著

岩波書店

維新後、各地で生まれた民権結社。それはさまざまな理想と幻想が渦巻く<デモクラシー>の拠点であった。明治政府を揺るがした未曾有の国民運動における人びとの熱意と希望のゆくえを追い、その栄光と悲慘をえがく。

2016:6./ 11p,232p

978-4-00-431609-1

本体 ¥820+税



毎日新聞 2016/09/11



陸軍士官学校事件〜二・二六事件の原点〜(中公選書 023)

筒井 清忠 著

中央公論新社

「陸士事件なくして二・二六事件なし」といわれながら、未だに謎の多い重大事件の真相とは?当事者の日記・記録・回想、憲兵隊・軍法会議の記録のほか、未公開の士官候補生らの取調記録をも駆使し、事件の実相に迫る。

2016:6./ 253p

978-4-12-110023-8

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2016/09/11



YKK 秘録

山崎 拓 著

講談社

YKKの誕生から四半世紀。山崎拓がずっとしたためていた日記を初公開。「加藤の乱」の内幕、小泉のたぐいまれな政治センス、友情と打算に満ちたYKKの真実がいま、明かされる。迫真の政治ドキュメント!

2016:7./ 315p

978-4-06-220212-1

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/09/11



世阿弥を学び、世阿弥に学ぶ〜12人の専門家が「世阿弥」を語る-講演・対談集-〜(阪大リーブル 57)

天野 文雄 編

大阪大学出版会

世阿弥生誕 650 年を記念し大槻能楽堂で行われた、世阿弥とその作品について、専門家による最新の知見が盛り込まれた講演集。

2016:7./ 317p

978-4-87259-439-3

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2016/09/11



キッドのもと(ちくま文庫 あ 54-1)

浅草キッド 著

筑摩書房

生い立ちから凄絶な修行時代、お笑い論、家族への思いまで。孤高の漫才コンビが仰天エピソード満載で送る笑いと感動のセルフ・ルポ。解説_宮藤官九郎

2016:8./ 341p

978-4-480-43370-1

本体 ¥760+税



毎日新聞 2016/09/11



偽りの帝国〜緊急報告・フォルクスワーゲン排ガス不正の闇〜

熊谷 徹 著

文藝春秋

世界最大の自動車メーカー・フォルクスワーゲンで発覚した排ガス不正。ドイツの優良企業の急成長と繁栄の裏で、何が起きていたのか。在独 25 年のジャーナリストが現地徹底取材で数々の謎に迫る。

2016:8./ 202p,4p

978-4-16-390483-2

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/09/11



文庫本宝船

坪内 祐三 著

本の雑誌社

山口昌男、西村賢太、サリンジャー、菊地成孔、マルクス、石井輝男、古今亭志ん朝...登場冊数 300 超。ジャンルを横断し、読みどころを鋭く解き明かす、全方位的の文庫本ガイド。『週刊文春』連載を単行本化。

毎日新聞 2016/09/11

2016:8./ 716p

978-4-86011-290-5

本体 ¥2,500+税



崑ちゃん〜ボクの昭和青春譜〜

大村 崑、小泉 カツミ 著

文藝春秋

江利チエミと高倉健、遊び仲間・藤田まこと、藤山寛美さんの楽屋テクニク、森光ちゃんと森繁久彌先生...。昭和の国民的スター・大村崑が語りつくす、抱腹絶倒の芸能秘話。秘蔵写真も収録。

毎日新聞 2016/09/11

2016:9./ 223p

978-4-16-390513-6

本体 ¥1,400+税



競馬の世界史〜サラブレッド誕生から 21 世紀の凱旋門賞まで〜(中公新書 2391)

本村 凌二 著

中央公論新社

中東生まれのアラブ馬を始祖とし、イギリスで誕生したサラブレッド。この純血種は欧米から世界中に広まり、20 世紀以降、凱旋門賞をはじめとするビッグレースが創設された。優駿たちが演じたドラマを世界史としてたどる。

毎日新聞 2016/09/11

2016:8./ 12p,268p

978-4-12-102391-9

本体 ¥840+税



喜びは悲しみのあとに(幻冬舎アウトロー文庫)

上原 隆 著

幻冬舎

毎日新聞 2016/09/18

2004:3./ 282p

978-4-344-40500-4

本体 ¥571+税



現代の貧困〜ワーキングプア/ホームレス/生活保護〜(ちくま新書)

岩田 正美 著

筑摩書房

格差社会の果てにワーキングプアや生活保護世帯が急増中と言われるが、バブルの時代にも貧困問題はあった。貧困問題をどう捉えるか、その実態はどうなっているのか。現代日本の現状を明らかにし、その処方箋を示す。

毎日新聞 2016/09/18

2007:5./ 221p

978-4-480-06362-5

本体 ¥760+税



反貧困〜「すべり台社会」からの脱出〜(岩波新書 新赤版 1124)

湯浅 誠 著

岩波書店

いまのニッポンも「貧困大国」だ。合言葉は「反貧困」。貧困問題の現場で活動する著者が、貧困を自己責任とする風潮を批判し、誰もが人間らしく生きることのできる「強い社会」へ向けて、課題と希望を語る。

毎日新聞 2016/09/18

2008:4./ 238p

978-4-00-431124-9

本体 ¥780+税





にじんだ星をかぞえて(朝日文庫)

上原 隆 著
朝日新聞出版
毎日新聞 2016/09/18

2009:6./ 253p
978-4-02-261615-9
本体 ¥660+税



* 9 7 8 4 0 2 2 6 1 6 1 5 9 *



貧乏物語 改版(岩波文庫 青 132-1)

河上肇 著
岩波書店
「貧乏」の問題を直視した河上肇(一八七九—一九四六)は、なぜ多数の人が貧乏しているのか、そしていかにして貧乏を根治しうるかを古今東西の典籍を駆使しながら説き明かす、富者の奢侈廃止こそ貧乏退治の第一策であると。

1965:10./ 236p
978-4-00-331321-3
本体 ¥660+税



* 9 7 8 4 0 0 3 3 1 3 2 1 3 *

毎日新聞 2016/09/18



友がみな我よりえらく見える日は(幻冬舎アウトロー文庫)

上原 隆 著
幻冬舎
毎日新聞 2016/09/18

1999:12./ 228p
978-4-87728-813-6
本体 ¥495+税



* 9 7 8 4 8 7 7 2 8 8 1 3 6 *



愛の言葉〜箱根ガラスの森美術館のひみつ〜

岩田 正崔 著
世界文化社
箱根ガラスの森美術館の館長が語る演出術と経営術。美術館を歩くように展開する館内と庭園の数々の美しい写真とともに紹介する。

2016:8./ 239p
978-4-418-16210-9
本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 4 1 8 1 6 2 1 0 9 *

毎日新聞 2016/09/18



イランの野望〜浮上する「シーア派大国」〜(集英社新書 0833)

鶴塚 健 著
集英社
核協議合意によって、国際社会のキープレイヤーとして浮上するイラン。欧米と巧みに渡り合い、シリアなど中東情勢の鍵を握るこの「大国」について、元テヘラン駐在員が詳細にリポートする。

2016:5./ 206p
978-4-08-720833-7
本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 0 8 7 2 0 8 3 3 7 *

毎日新聞 2016/09/18



海と山のピアノ

いしい しんじ 著
新潮社
山でひとが溺れてから半年、グランドピアノとともに流れ着いたひとりの少女。やがて奇跡が訪れ…。命を育み、あるいは奪う、水の静けさ、怖さ、あたたかさ。響きあう九つの短篇小説を収録。『新潮』掲載等をまとめて単行本化。

2016:6./ 279p
978-4-10-436304-9
本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 1 0 4 3 6 3 0 4 9 *

毎日新聞 2016/09/18



「世界史」の世界史(MINERVA 世界史叢書 総論)

秋田 茂、永原 陽子、羽田 正、南塚 信吾、三宅 明正、桃木 至朗 著
ミネルヴァ書房

人類が各地域・時代に描いてきた世界像を点検したのち、19 世紀以降西欧で作られてきた世界史を、近年の研究成果とともに批判的に検証し、今後われわれが作るべき新たな世界史像を探究する。

2016:9./ 8p,427p,11p

978-4-623-07111-1

本体 ¥5,500+税



毎日新聞 2016/09/18



猿の見る夢

桐野 夏生 著
講談社

薄井正明、59 歳。目下の悩みは社内での生き残り。そんな彼の前に、妻が呼び寄せたという謎の占い師・長峰が現れる。この女が指し示すのは、栄達の道か、それとも破滅の一步か…。『週刊現代』連載を単行本化。

2016:8./ 451p

978-4-06-220201-5

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2016/09/18



情報参謀(講談社現代新書 2377)

小口 日出彦 著
講談社

2009 年の下野からわずか 4 年で政権を奪還した自民党。その水面下では、テレビとネットのメタデータを駆使した政治情勢分析会議が極秘裏に行われていた。自民党をデータ分析で導いた人物が、その全貌を初めて明かす。

2016:7./ 218p

978-4-06-288377-1

本体 ¥760+税



毎日新聞 2016/09/18



我が愛する詩人の伝記(講談社文芸文庫 む A9)

室生 犀星 著
講談社

島崎藤村、高村光太郎、山村暮鳥、北原白秋、萩原朔太郎、千家元麿、堀辰雄…。室生犀星が、親交のあった詩人の生身の姿とその芸術家の魂を優しく照射する。

2016:8./ 277p

978-4-06-290318-9

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/09/18



<わたし>は脳に操られているのか～意識がアルゴリズムで解けないわけ～

エリエザー・スタンバーグ 著
合同出版

悪いことをするのも、脳のせい？ 脳科学の最重要テーマ「自由と倫理」「意識とアルゴリズム」に挑み、大きな反響を呼んだ話題作！

2016:9./ 327p

978-4-7726-9552-7

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2016/09/18



人はなぜ星を見上げるのか～星と人をつなぐ仕事～

高橋 真理子 著
新日本出版社

20 年もの間、プラネタリウムや星・宇宙を仕事のパートナーとしてきた著者。「星と人をつなぐ」仕事をするに至った背景と、20 年間の多くのかけがえのない出逢いによって生み出された仕事の記録を綴る。

2016:8./ 173p

978-4-406-06044-8

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/09/18



千葉一族入門事典～日本史を駆け抜けた月星の武士たち～

千葉氏サミット実行委員会 編

啓文社書房

千葉の発展の礎を築いた千葉氏の歴史や重要人物、経済・文化・宗教などをわかりやすく解説する入門書。猪鼻城、本佐倉城といった千葉氏の城めぐり、千葉氏の祭、千葉氏の歴史文献なども紹介する。

2016:8./ 208p

978-4-89992-013-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/09/18



スペース金融道

宮内 悠介 著

河出書房新社

「宇宙だろうと深海だろうと、核融合炉内だろうと零下 190 度の惑星だろうと取り立てる」新星金融コンビ!新本格 SF コメディ誕生。

2016:8./ 289p

978-4-309-02493-6

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2016/09/18、朝日新聞 2016/09/25



武家の女性(岩波文庫 青 162-1)

山川菊栄 著

岩波書店

幕末の下級武士の家に生れ育った母千世の昔話をもとに、武士の家庭と女性の日常の暮らしを女性の眼で生き生きと描き出した庶民生活史。動乱に明け暮れる水戸藩で女性たちがどのような暮らしを受けて暮していたのか、巧みな筆致で描かれる。

1983:4./ 201p

978-4-00-331621-4

本体 ¥620+税



毎日新聞 2016/09/25



大往生(岩波新書 新赤版 329)

永 六輔 著

岩波書店

人はみな必ず死ぬ。死なないわけにはいかない。それなら、人間らしい死を迎えるために、深刻ぶらずに、もっと気楽に「老い」「病い」、そして「死」を語りあおう。死への確かなまなざしが、生の尊さを照らし出す。

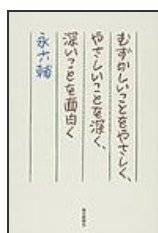
1994:3./ 199p

978-4-00-430329-9

本体 ¥740+税



毎日新聞 2016/09/25



むずかしいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを面白く

永 六輔 著

毎日新聞出版

読んでから聞くか。聞いてから読むか。「土曜ワイドラジオ TOKYO 永六輔その新世界」の内容をコラムとして『毎日新聞』に掲載したものから、2009 年 4 月?2013 年 12 月分を収録。

2014:1./ 219p

978-4-620-32234-6

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/09/25



おんな二代の記(岩波文庫 33-162-5)

山川 菊栄 著

岩波書店

女性解放運動の先駆者として名高い山川菊栄とその母青山千世の、女性二代にわたる自叙伝。「明治」初期から「昭和」の敗戦後に至る激動期を、多くの同時代人の肖像を織り込んで活写する。

2014:7./ 459p

978-4-00-331625-2

本体 ¥1,080+税



毎日新聞 2016/09/25



ヨーロッパ・コーリング～地べたからのポリティカル・レポート～

ブレイディみかこ 著

岩波書店

社会保障の削減や貧困の拡大など、日本と同じ問題に直面する欧州で、新たな求心力を持った左派が支持を集めている。在英 20 年のライターが熱い思いとクールな筆致で綴る政治時評。『Yahoo!ニュース』掲載等を単行本化。

2016:6./ 9p,289p

978-4-00-002399-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2016/09/25



大津絵～民衆的諷刺の世界～(角川ソフィア文庫 J116-1)

クリストフ・マルケ 著

KADOKAWA

江戸時代に流行した庶民の絵画、大津絵。鬼が念仏を唱え、神々が相撲をとる…。奇想天外な世界を描くその伝統はいかに人気を博し、そして消えたのか。多彩な 78 種の画題をカラーで掲載し、諷刺と諧謔の精神を解き明かす。

2016:7./ 285p,18p

978-4-04-400041-7

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/09/25



核拡散防止の比較政治～核保有に至った国、断念した国～

北野 充 著

ミネルヴァ書房

「核のない世界」の実現に向けて何が必要なのか。中国、インド、パキスタン、南アフリカ、イラン、北朝鮮…。核開発決断の決定要因をはじめ、核開発阻止への取り組みなどを、軍縮不拡散外交の第一線に立つ著者が解明する。

2016:7./ 18p,439p,9p

978-4-623-07646-8

本体 ¥6,000+税



毎日新聞 2016/09/25



旧約聖書の世界

谷口 江里也、G.ドレ 著

未知谷

旧約聖書という書物が語り伝えようとしている世界観や、その壮大な世界を支えている頑強な構造などを、19 世紀の天才版画家ギュスターヴ・ドレの作品とともに読み解く。

2016:7./ 316p

978-4-89642-501-7

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2016/09/25



寝るまえ 5 分の外国語～語学書書評集～

黒田 龍之助 著

白水社

語学参考書(ゴガクシヨ)は文法や会話表現だけでなく、新たな世界の魅力まで教えてくれる。読めば読むほど面白いオススメの 103 冊。

2016:9./ 257p

978-4-560-08727-5

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2016/09/25



山谷 ヤマの男

多田 裕美子 著

筑摩書房

日雇労働者の街として知られた東京山谷。ここで百人を超える男たちの肖像を撮影した女性カメラマン。エピソードと写真を収録する。

2016:8./ 223p

978-4-480-81531-6

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2016/09/25



蜜と唾

盛田 隆二 著

光文社

梶亮平のもとに、学生時代に家庭教師をしていた少年の母親・美帆子から電話が入る。4年ぶりに再会した年上の彼女は相変わらず、うっとりするほどきれいだったが…。犯罪ミステリー。『小説宝石』連載に加筆して単行本化。

2016:8./ 308p

978-4-334-91115-7

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2016/09/25



夢洗ひ～恩田侑布子句集～(角川俳句叢書)

恩田 侑布子 著

KADOKAWA

2008年から8年間の約300句を収める第4句集。現実と夢幻の間に立ち上がる世界を言葉の雫で鮮やかに描き出す。評論集『余白の祭』でドゥマゴ文学賞を受賞し、一層の活躍が期待される著者の詩情豊かな作品集。

2016:8./ 173p

978-4-04-876403-2

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2016/09/25



マスラオ礼賛

ヤマザキ マリ 著

幻冬舎

古今東西、男は何をしでかすかわからない。ハドリアヌス帝、ノッポさん、ステイーブ・ジョブズ、空海、マルチェッロ・マストロヤンニなど、「テルマエ・ロマエ」の著者が、偏愛する男の中の男たちを語る。

2016:8./ 228p

978-4-344-02978-1

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2016/09/25



それで寿命は何秒縮む?～「損失余命」というリスクのものさし～

半谷 輝己 著

すばる舎

タバコを1本吸うと12分、コーヒーを1杯飲むと20秒、寿命が縮む。いろいろな飲み物や食べ物、行動、体質、放射線リスクが、どれくらい危ないのかを数字で示す。

2016:9./ 246p

978-4-7991-0487-3

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2016/09/25